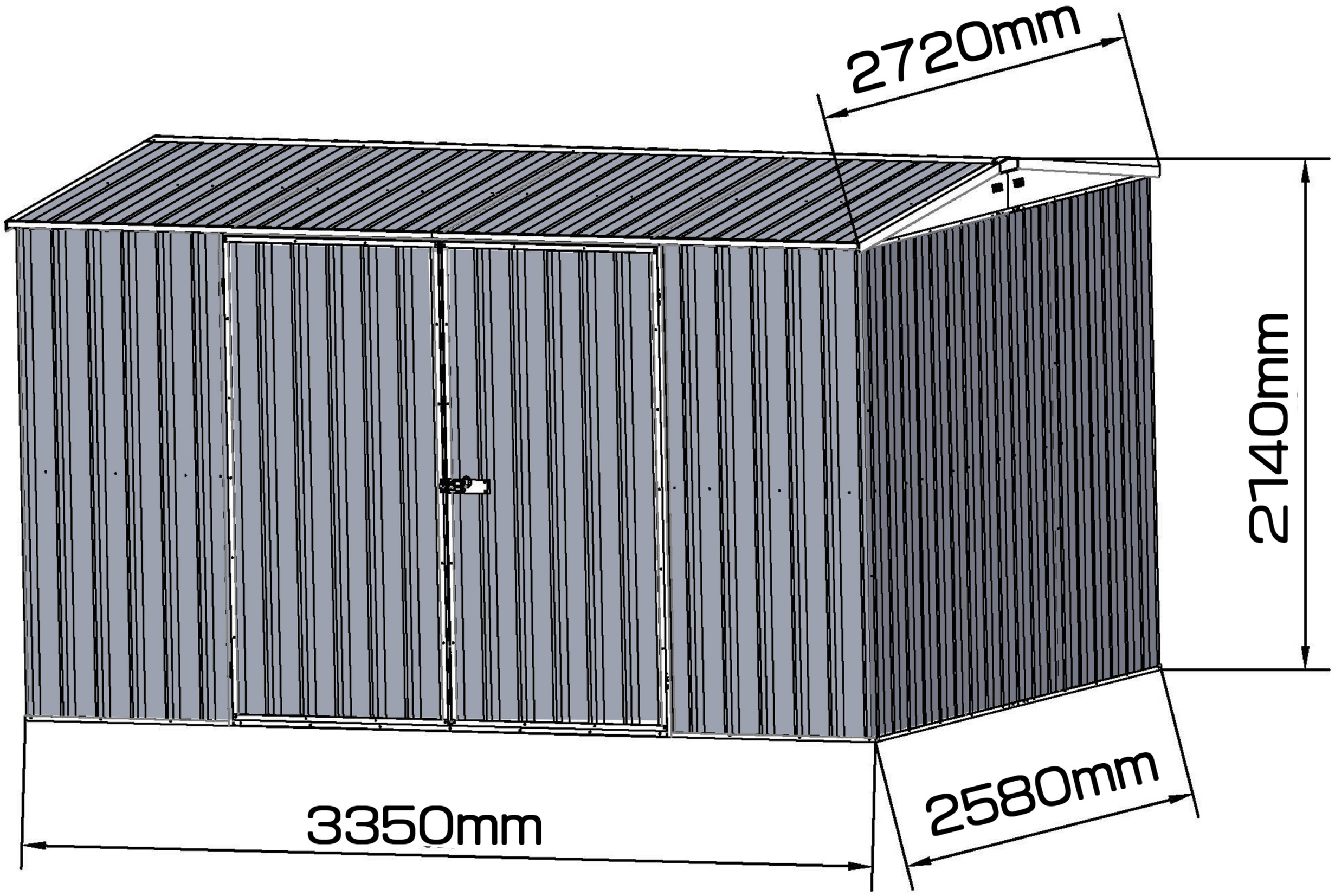
GRESS

株式会社グレス

Service Manual
取扱説明書

グレス メタル シェッド
GRESS METAL SHED

11×8フィート feet



推奨作業人数：大人2名以上
作業時間の目安：2~3日以上

【はじめにお読み下さい】

安全な作業のために

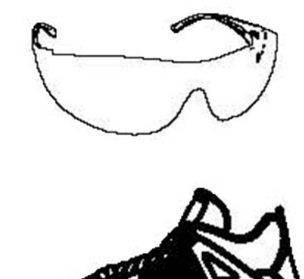
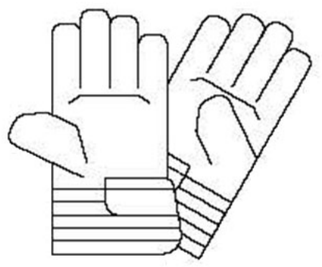
【組み立て作業前に確認してください】
・大人2名以上で完成まで2~3日かかります。

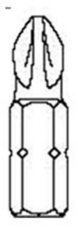
・設置場所の設置条件(建築基準法など)について必ず確認してください。

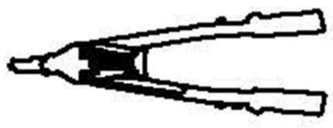
・部品リストにて不足部品がないか確認してください。
　ネジ、ワッシャーについても数をご確認ください。

・中国輸入品のため、部品に傷やへこみ、折れや曲がりがある場合があります。
　使用に支障のない傷やへこみ、折れや曲がりはクレーム対象外となります。
　折れや曲がりについては手やプラスチックハンマーで直してご使用ください。

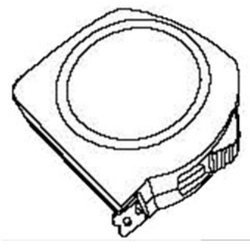
・工具類は入っておりませんので、以下をご用意ください。
◎組み立てに必要な工具類
　作業用ゴム手袋　安全保護メガネ　安全靴　リベッター
　インパクトドライバー　ドリルビット　マーカー　メジャー
※ドリルが付属しますが、穴あけには別途ドリルビット
もしくはS16(ドリルビス)を使用してください。
※リベッターはリベットを使用する場合のみご用意ください。



【注意点】
※以下注意点を守らずに発生した
　作業中および使用時のけがなどによる負傷について
　弊社は責任を負いませんのであらかじめご了承ください。



・必ず水平な場所にて組み立てを行い、設置してください。
　水平でない場所で組み立てますと歪みが生じ、
　ネジ穴がずれたり雨漏りや破損の原因となります。
　ネジ穴がずれた場合は部品を引っ張って穴を合わせてから取付してください。

・組み立て途中の壁パネルは風の影響を受けやすいです。
　倒れて曲がってしまったり、けがをしないようになるべく風のない日に作業してください。

・雨の日や風が強い日、気温が高い日は危険ですので作業しないでください。

・ネジやボルトを使用する工程では
　すべて仮止め→本締めの順番で作業すると穴が合わせやすくなります。

・危険ですので作業中はお子様を近づけないでください。

【はじめにお読み下さい　2】

安全な作業のために

・鋭利な部品が多くけがや目にごみが入るのを防ぐために
　作業時は必ず作業用ゴム手袋・安全保護メガネ・安全靴を着用してください。

・屋根に防水テープを貼ったりビス止めを行う際、
　屋根に乗りながらの作業になりますので
　落下防止のため滑りにくい安全靴を履き、
地面にマットを敷くなど安全に配慮して作業してください。

・雨漏りを防ぐため、またネジで傷がつかないようにワッシャーを使用してください。
　万がーネジ穴より雨漏りする場合は、ネジ穴にコーキング処理を施してください。

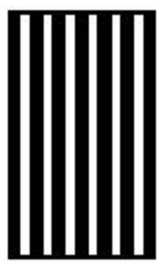
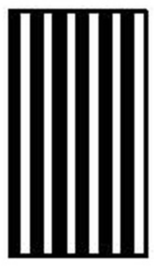
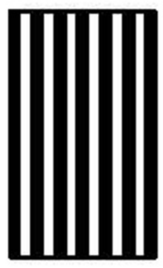
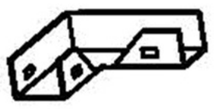
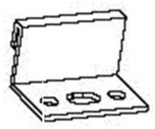
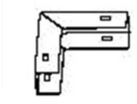
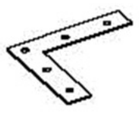
・風雨による倒壊防止のためアンカー施工による固定を推奨致します。
※この商品には基礎のベースキット以外に床材は付属しておりません。
　お客様ご自身でご用意の上、施工してください。

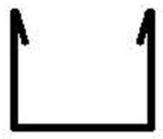
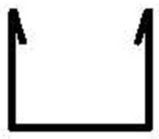
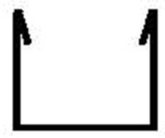
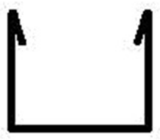
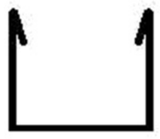
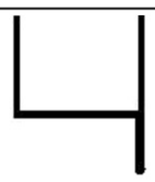
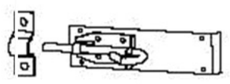
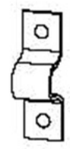
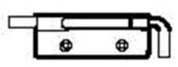
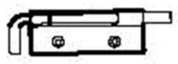
・扉は使用時以外は閉めてください。
　風により破損やけがをする恐れがあります。

・屋根は落ち葉などがたまらないように
　定期的に掃き掃除できれいに保つようにしてください。
　特に積雪は重量があり倒壊の危険がありますのですみやかに取り除いてください。

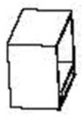
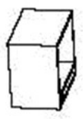
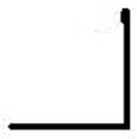
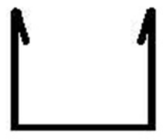
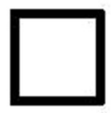
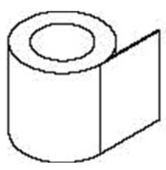
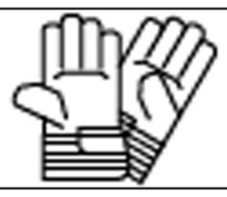
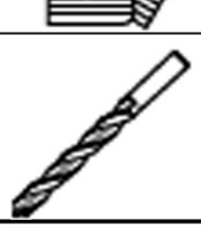
・化学薬品などを物置の中に保管しないようにしてください。

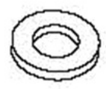
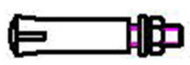
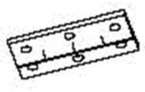
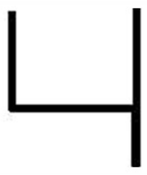
パーツリスト　（1/2箱目）

画像	部品番号	数	check
	DPC1	2	
	PC5	2	
	TP1	8	
	GL3	2	
	GR3	2	
	C1	8	
	C7	10	
	C12	8	
	C23	4	

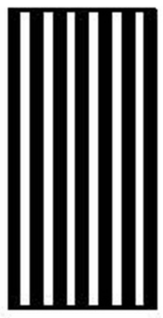
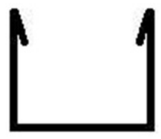
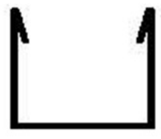
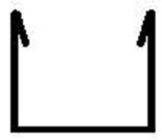
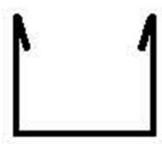
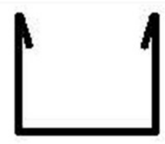
画像	部品番号	数	check
	DF1	4	
	DFC2	2	
	DFC3	2	
	DFU1	2	
	DFU2	4	
	DTC	1	
	H1	1	
	H4	1	
	H2	1	
	H3	1	
	J3	18	

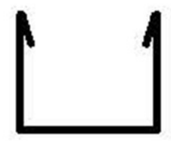
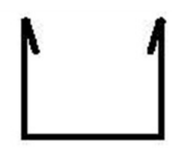
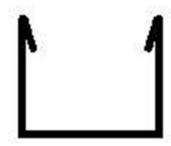
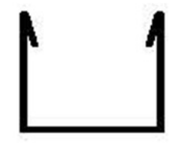
パーツリスト　2　(1/2箱目)

画像	部品番号	数	check
	L1	2	
	L1A	12	
	L3	90	
	LG3	2	
	LT1	4	
	LT2	4	
	MF3B	4	
	MS3	2	
	MTC1	2	
	MSA	4	
	防水テープ	1	
	作業用 手袋	1	
	ドリル ビット	1	

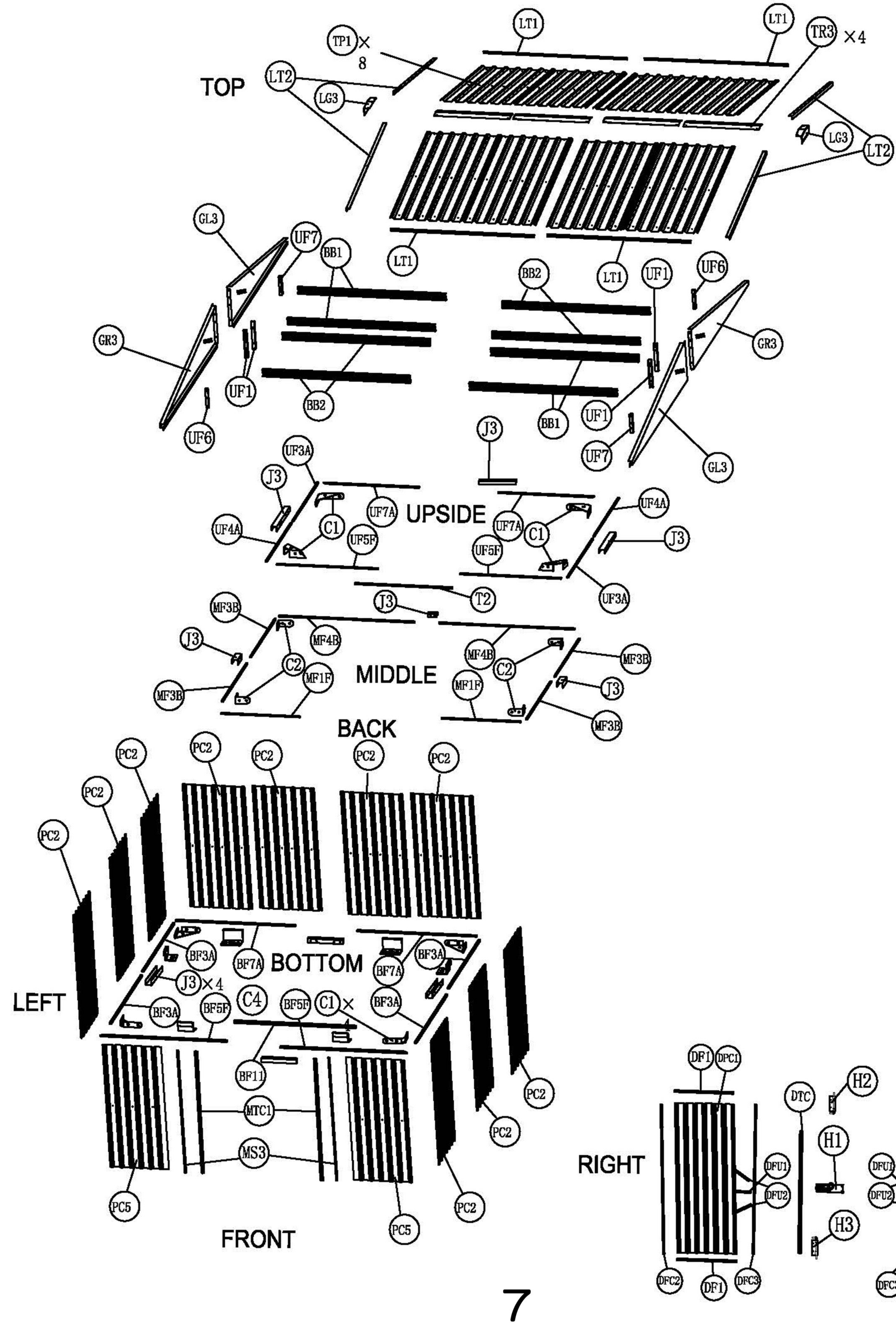
画像	部品番号	数	check
	S3	311	
	S5	176	
	S7	30	
	S8	36	
	S11	10	
	S16	30	
	SH1	4	
	T2	1	
	TR3	4	
	UF1	4	
	UF6	2	
	UF7	2	

パーツリスト　3　(2/2箱目)

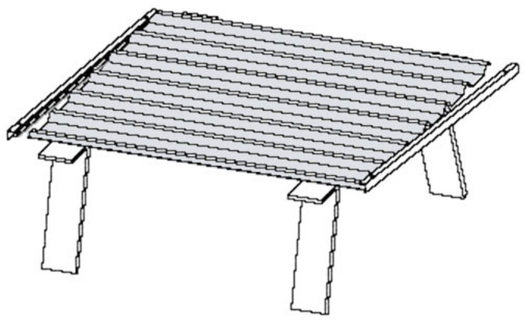
画像	部品番号	数	check
	PC2	10	
	BB1	4	
	BB2	4	
	BF3A	4	
	BF5F	2	
	BF7A	2	
	BF11	1	
	F11	14	

画像	部品番号	数	check
	MF1F	2	
	MF4B	2	
	UF3A	2	
	UF4A	2	
	UF5F	2	
	UF7A	2	

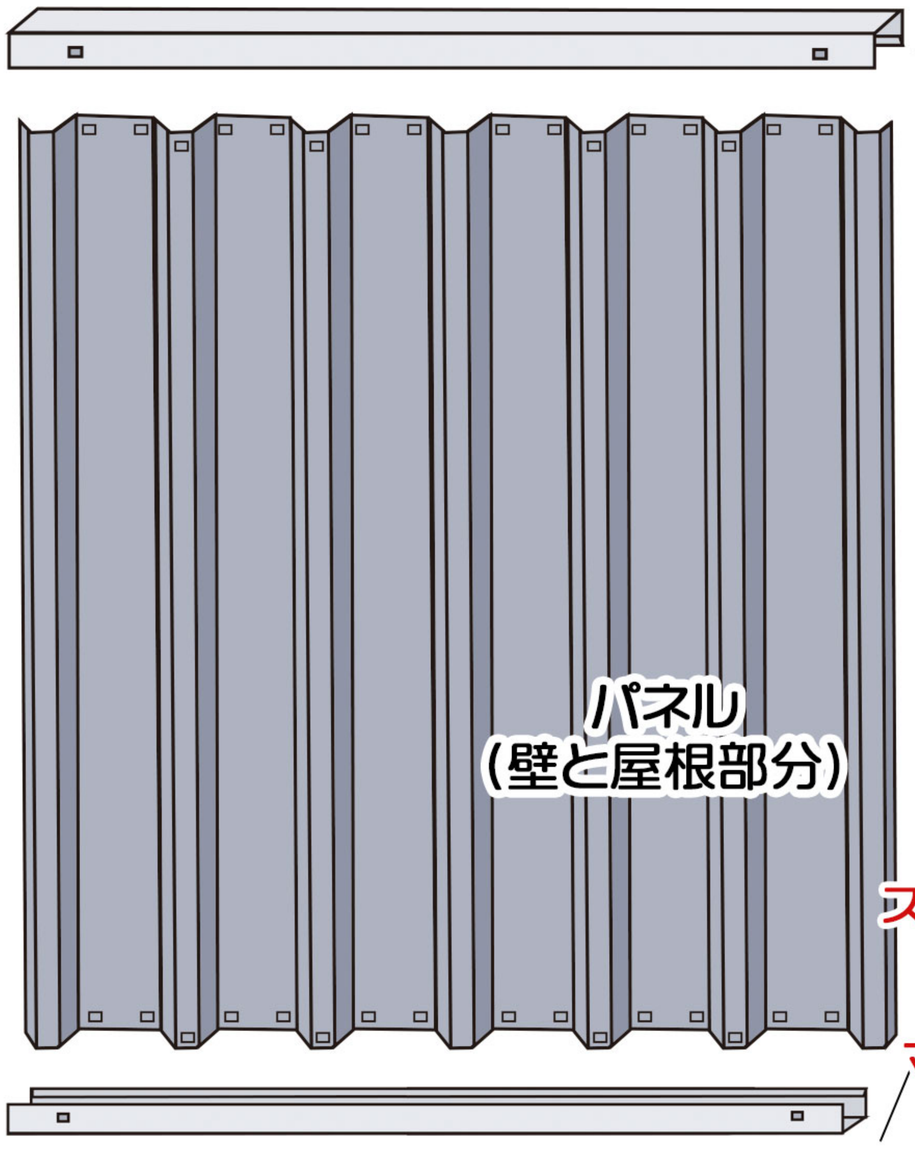
全てのパーツ早見図


TOP
TP1 × 8
LT2
LG3
LT1
LT1
TR3 ×4
LG3
LT2
GL3
UF7
BB1
LT1
BB2
LT1
UF1
UF6
GR3
GR3
UF1
BB2
UF6
BB1
UF1
UF7
GL3
J3
UF3A
J3
UF7A
UF4A
C1
UF5F
UPSIDE
UF7A
C1
UF5F
UF4A
J3
UF3A
J3
T2
MF3B
J3
MF4B
C2
MF1F
MF3B
MIDDLE
MF4B
C2
MF1F
MF3B
J3
MF3B
BACK
PC2
PC2
PC2
PC2
PC2
PC2
PC2
PC2
BF3A
BF7A
J3 ×4
BF3A
BF5F
C4
BF5F
C1 ×
BF3A
BF7A
BF3A
BF11
MTC1
MS3
PC5
PC2
PC2
PC2
PC5
LEFT
FRONT
RIGHT
DF1
DPC1
DTC
H2
H1
H3
DFU1
DFU2
DFC2
DF1
DFC3
DPC1
DF1
DFU1
DFU2
DFC3
DF1
DFC2

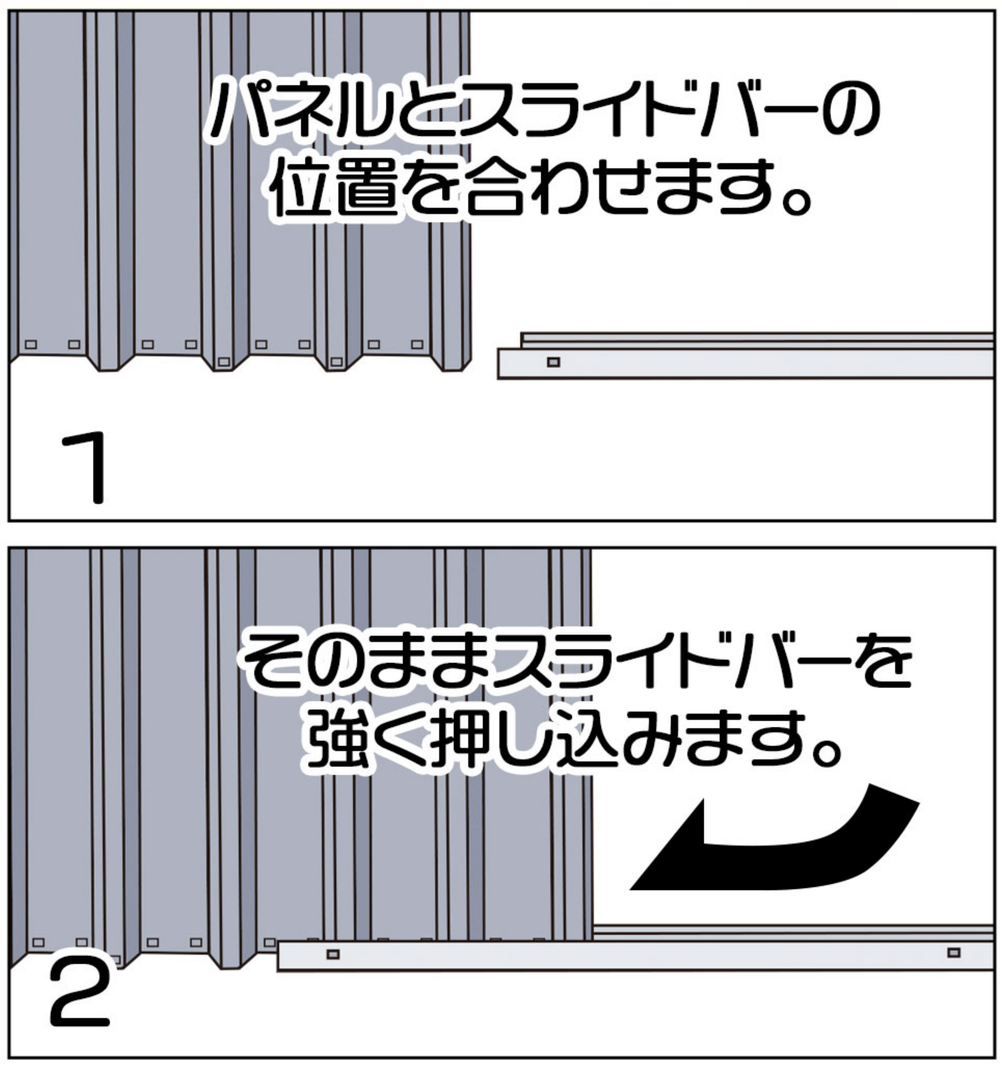
壁パネルとスライドバー・ジョイントパーツとの組合わせかた



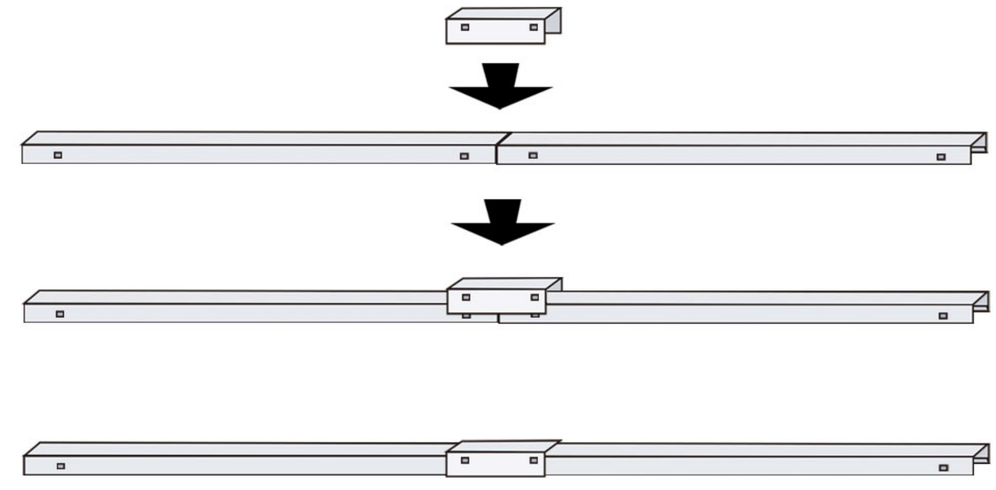
パネル部分とスライドバー
全て共通で
組み立てることができます。
作業台をご使用いただくと
作業しやすいです。

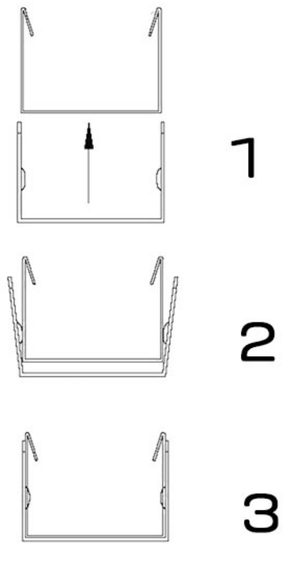


注意!!
スライドバーの種類によって
穴の開いてる位置が
異なる場合があります。
マニュアルでよく確認して
作業を行ってください。

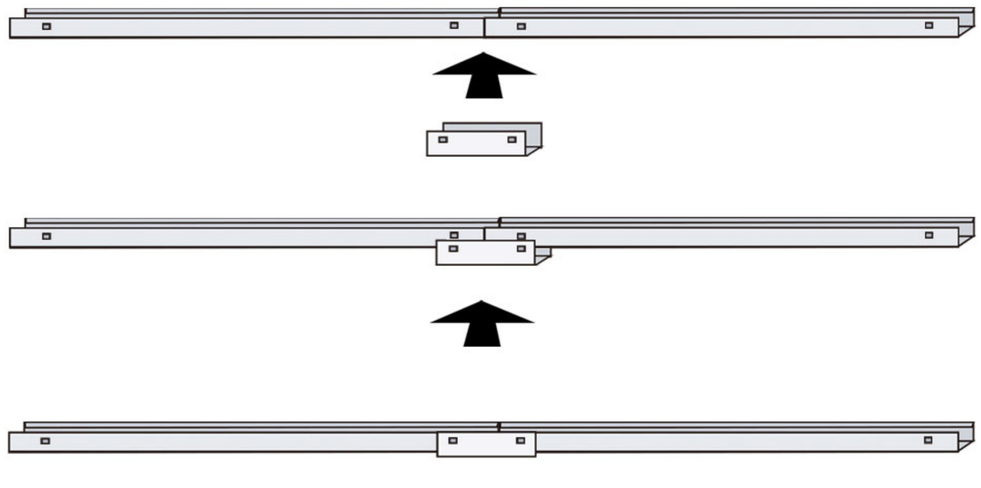


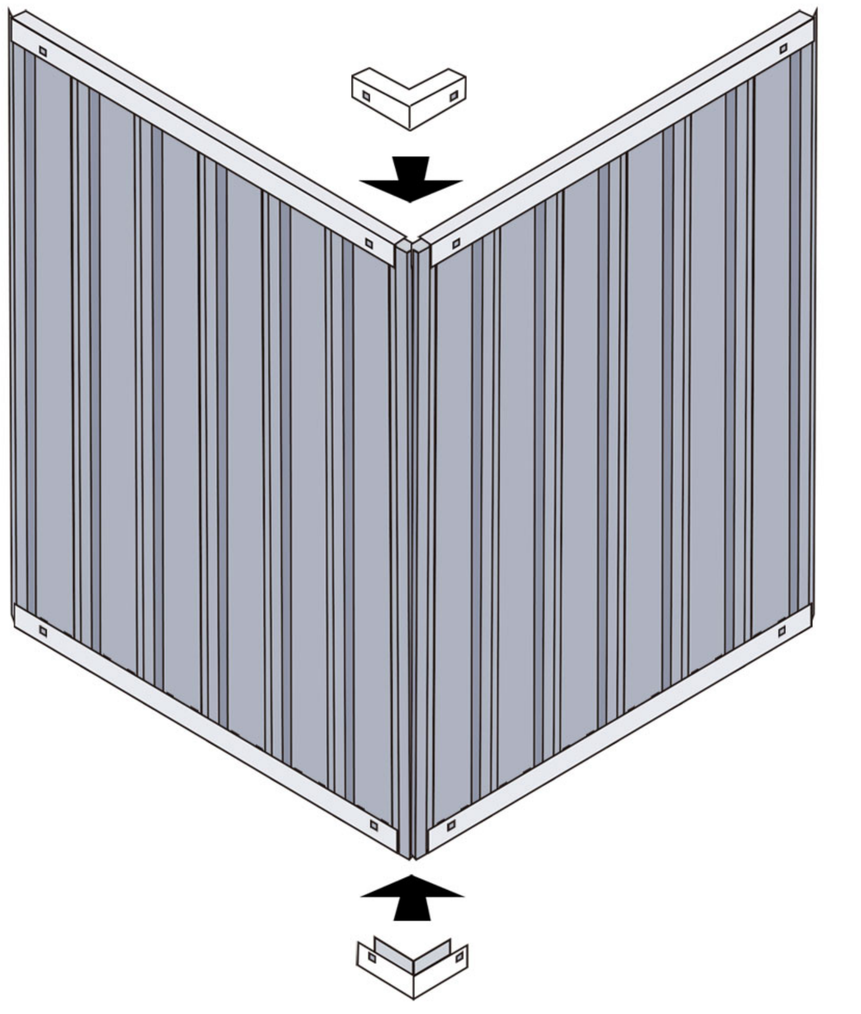
スライドバーを図のように並べます。
ジョイントパーツを凹みに合わせて押し込みます。





下側のスライドバーも同様に
凹みに合わせて押し込みます。





角のジョイントパーツも
同様に位置を合わせ
押し込みます。

ジョイントパーツが
はまりづらかったり
きちんと収まらない時は
プラスチックハンマー等で
叩いて収まるようにしてください。

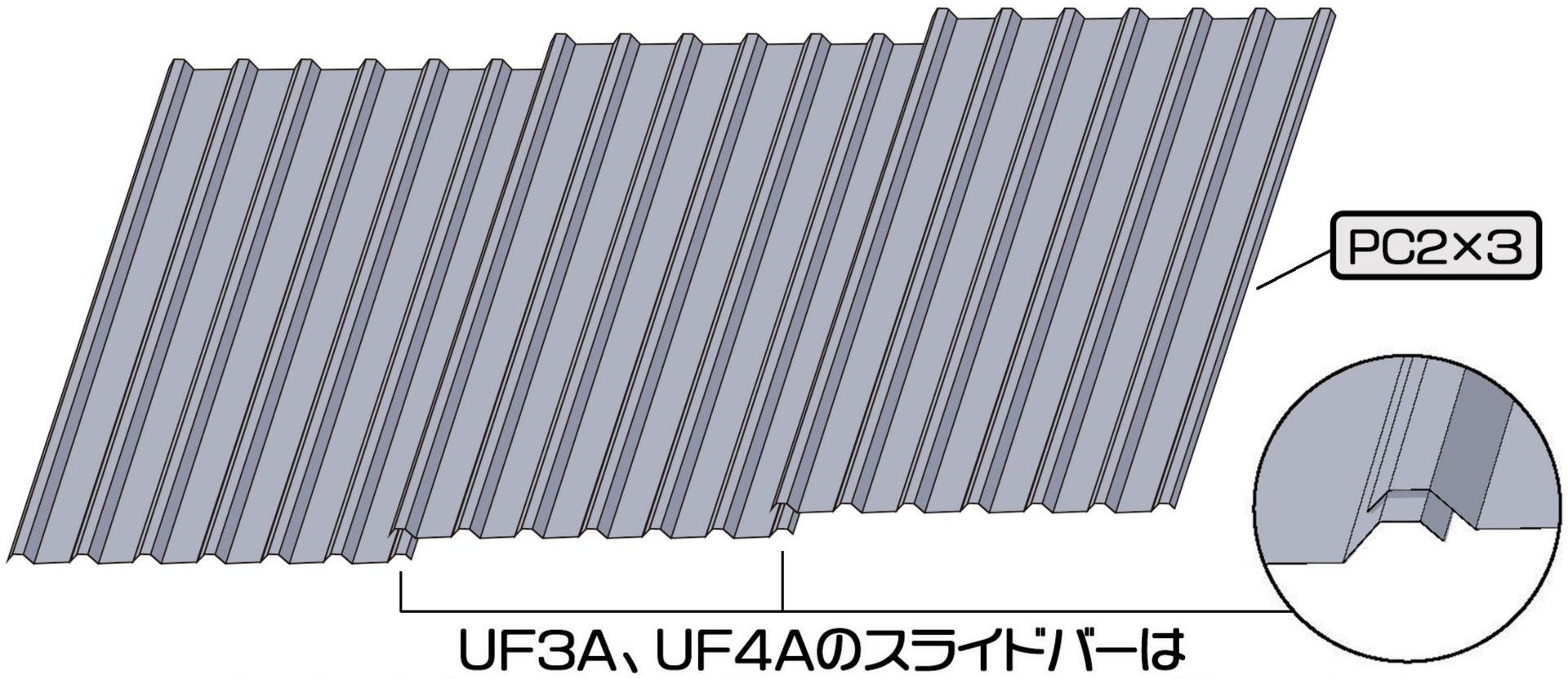
壁パネルの組み立て　1

左右の壁パネルの組み立て

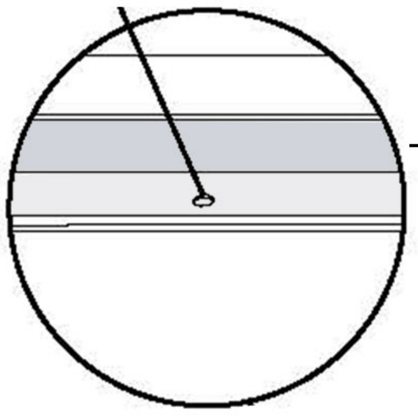
	PC2	3
	BF3A	2
	J3	2
	UF3A	1
	UF4A	1

組み立て前にパーツが
揃っているか
確認をお願いします。

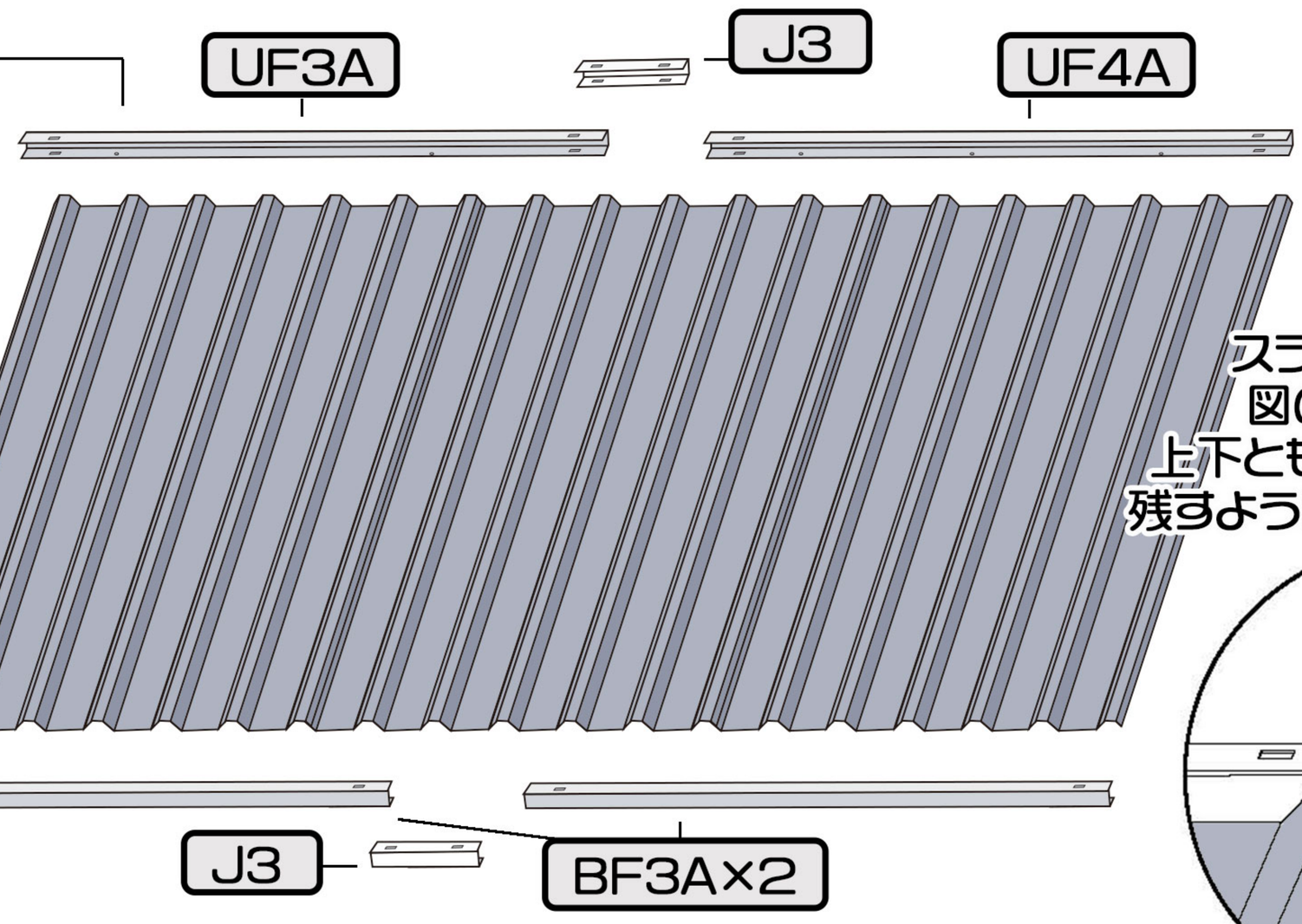
初めに3枚のPC2パネルを
図のようにパネルの内側同士が中央にくるように重ねます。



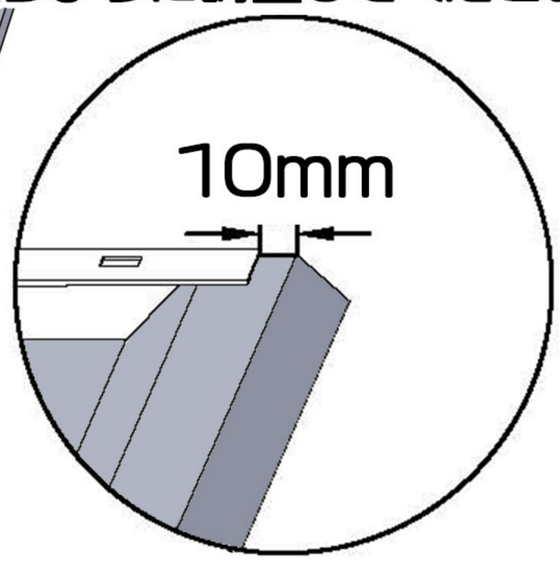
スライドバーの穴の向きに
気をつけてください。

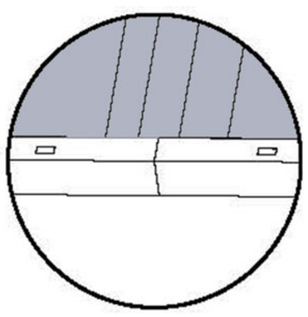


UF3A、UF4Aのスライドバーは
それぞれの穴の向きを確認してPC2パネルを押さえながら
スライドバーを端からスライドさせてはめていきます。
下部分のBF3Aのスライドバーも同様にはめてください。

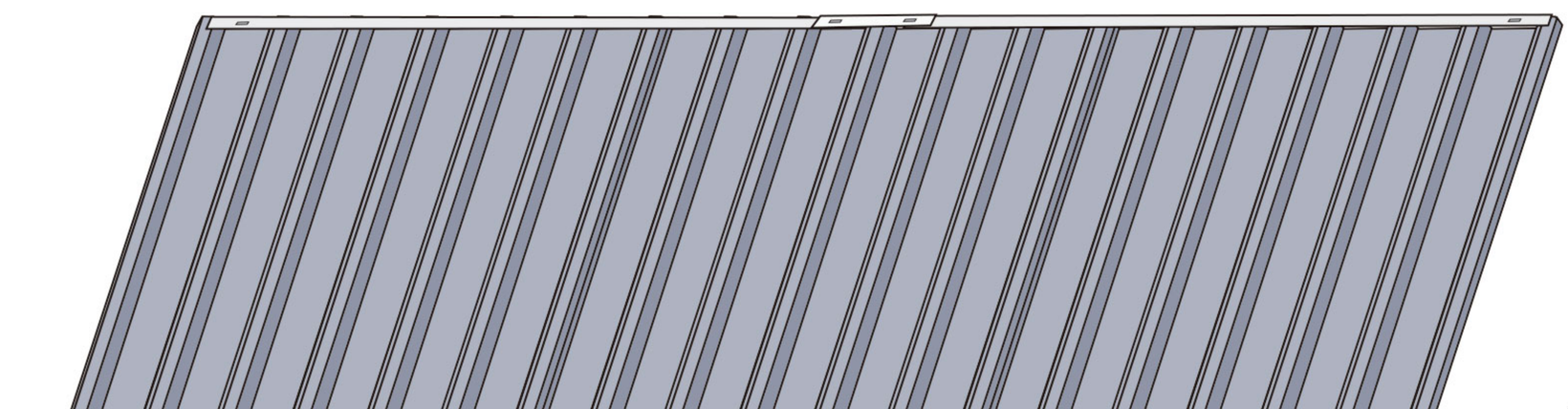


スライドさせながら
図のように両端を
上下ともに約10mmくらい
残すように調整してください。





スライドバーが左図のようになっているか確認をして
へこみに合わせてJ3のジョイントパーツを
それぞれ上下のスライドバーの中心部分
にはめていきます。



同様に
左右1枚ずつ
計2枚作成します。

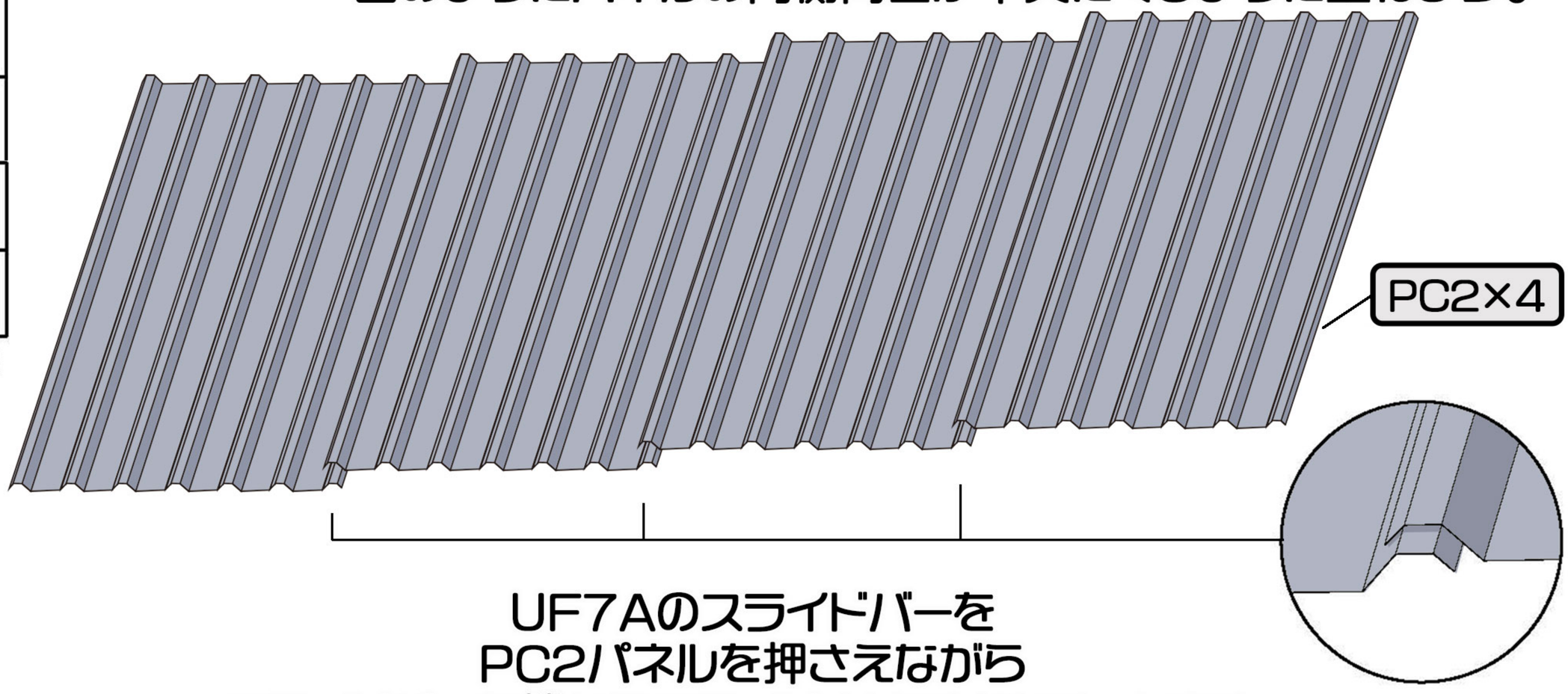
壁パネルの組み立て　2

後方壁パネルの組み立て

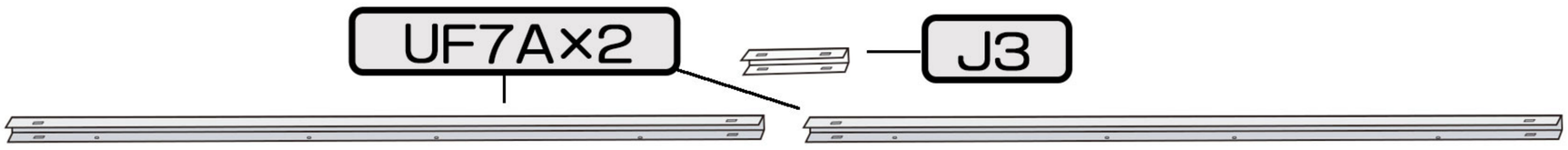
	PC2	4
	BF7A	2
	UF7A	2
	J3	2

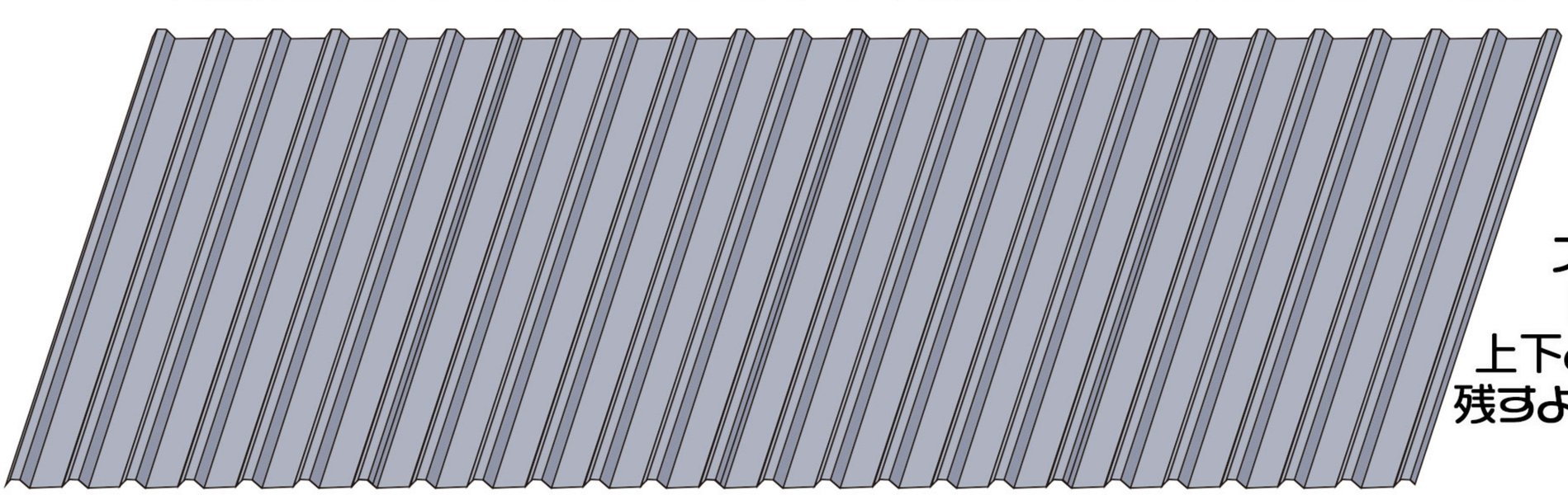
組み立て前にパーツが
揃っているかの
確認をお願いします。

左右の壁と同様に4枚のPC2パネルを
図のようにパネルの内側同士が中央にくるように重ねます。

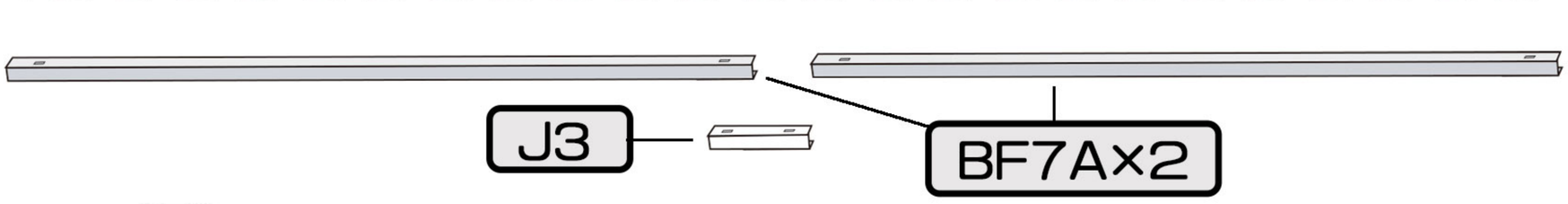


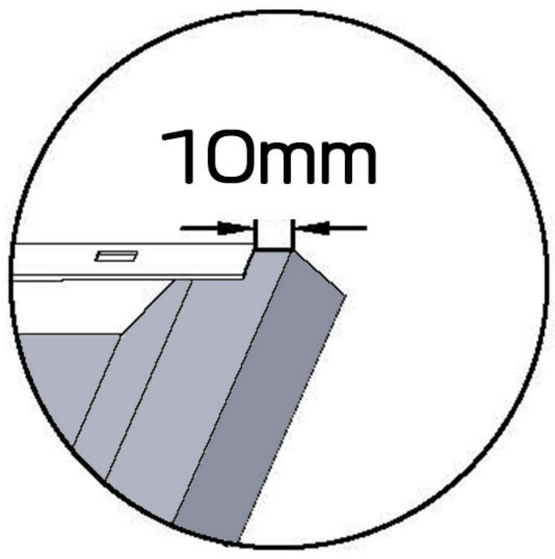
UF7Aのスライドバーを
PC2パネルを押さえながら
スライドバーを端からスライドさせてはめていきます。
下部分のBF7Aのスライドバーも同様にはめてください。

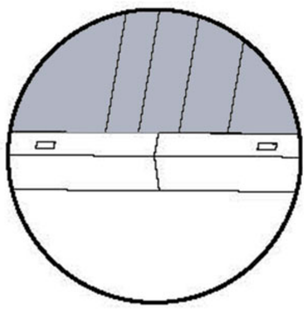




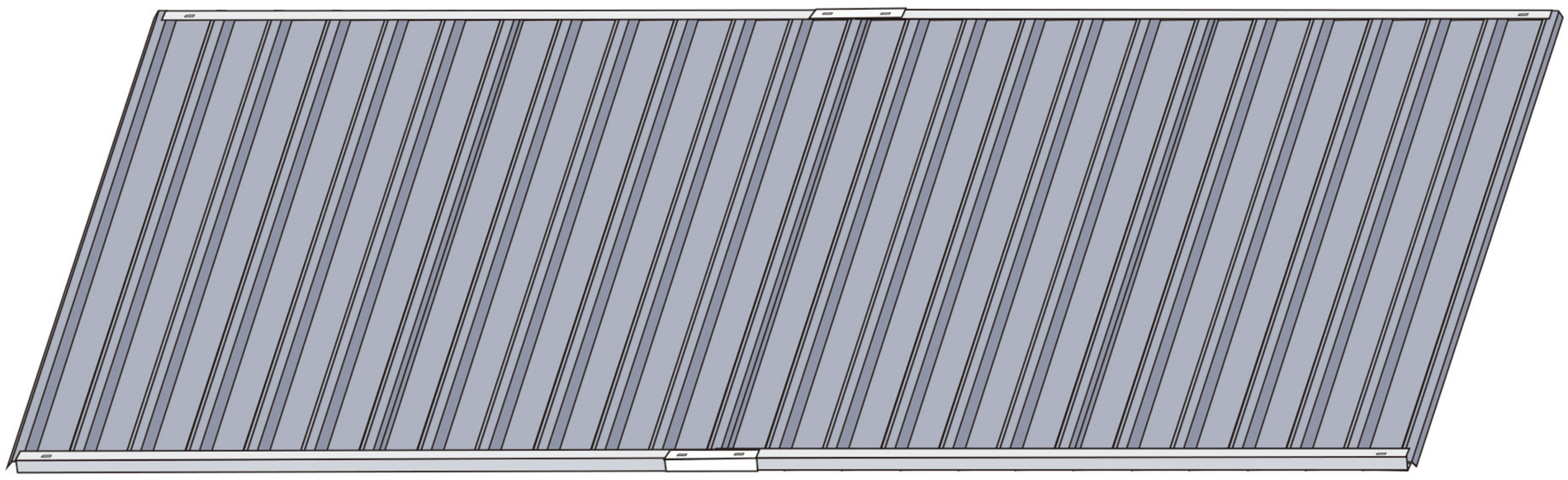
スライドさせながら
図のように両端を
上下ともに約10mmくらい
残すように調整してください。







スライドバーが左図のようになっているか確認をして
へこみに合わせてJ3のジョイントパーツを
それぞれ上下のスライドバーの中心部分
にはめていきます。

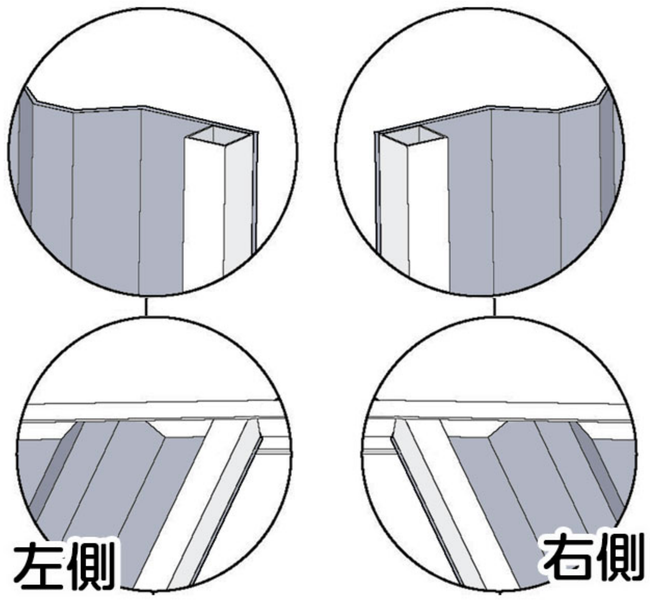


壁パネルの組み立て　3

前方壁パネルの組み立て

	PC5	2		BF5F	2
	MS3	2		J3	2
	UF5F	2		MTC1	2

組み立て前にパーツが
揃っているかの
確認をお願いします。

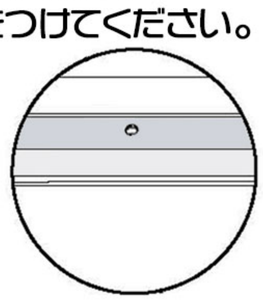


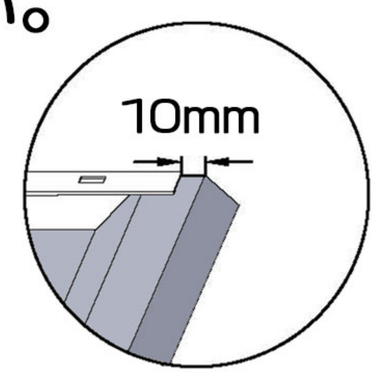
UF5F、BF5Fは穴の向きに気をつけながら
作業してください。

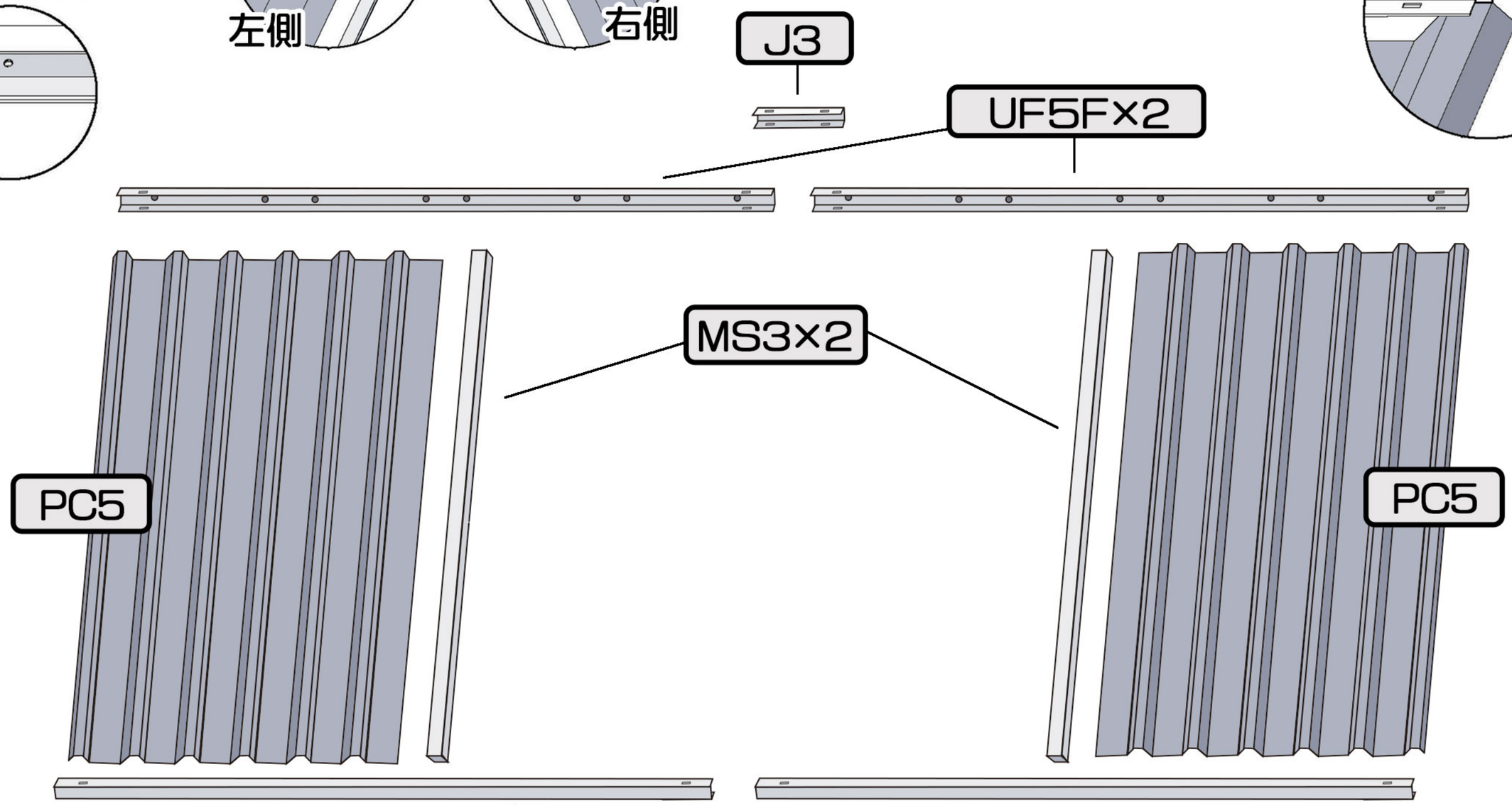
PC5のパネルの前方壁の内側になる部分に
MS3を重ねます。(左図参照)

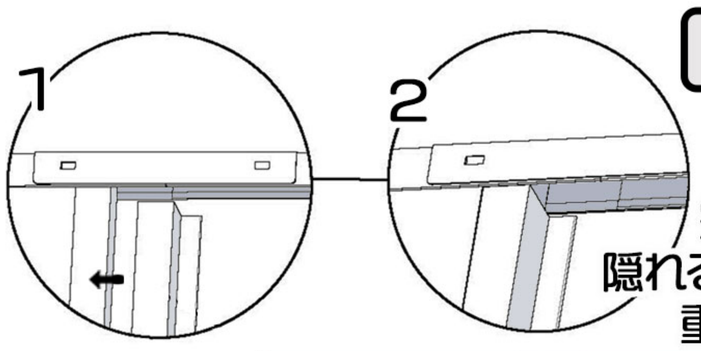
UF5F、BF5Fをそれぞれ PC5パネルに
スライドさせながらはめ込んで
J3を取り付けてください。

穴の向きに
気をつけてください。





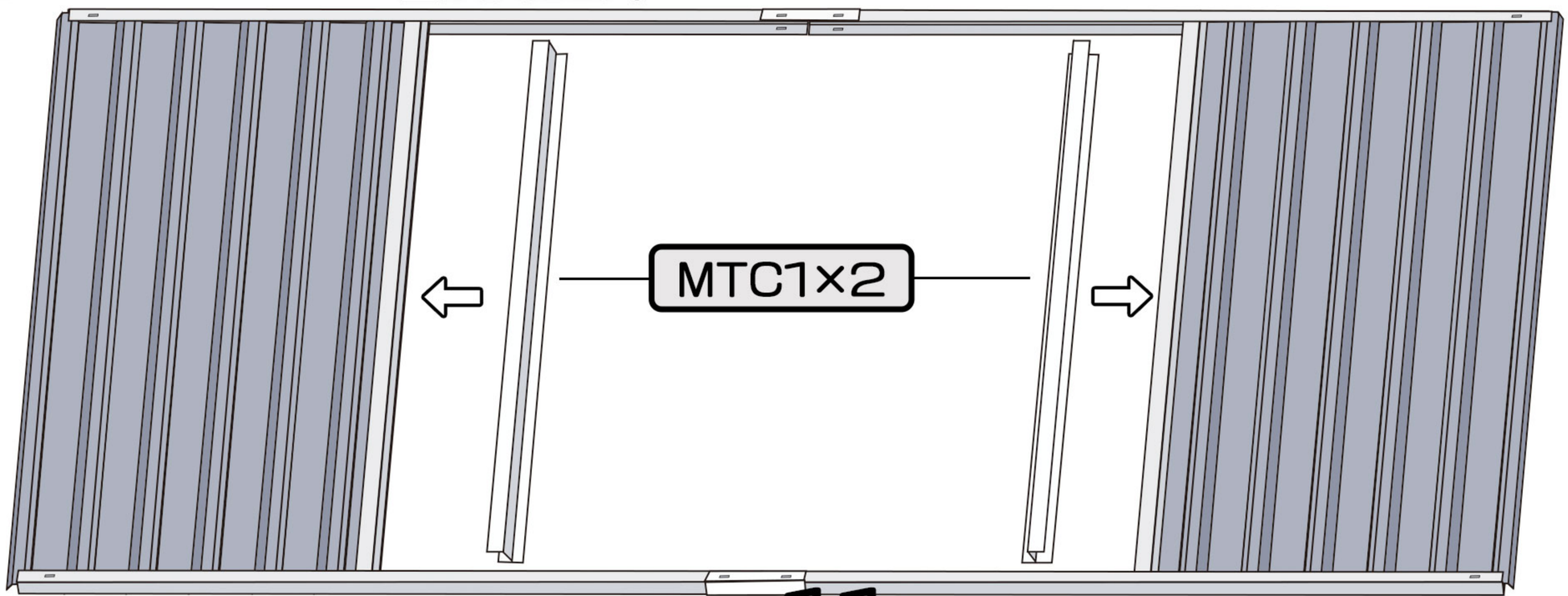




完全にMS3が
隠れる状態までMTC1を
重ねてください。

J3取り付けた後、MS3に重なるように
MTC1をはめ込みます

扉のストッパー部分になります。



壁パネルの組み立て　4

前方壁パネルの組み立て２

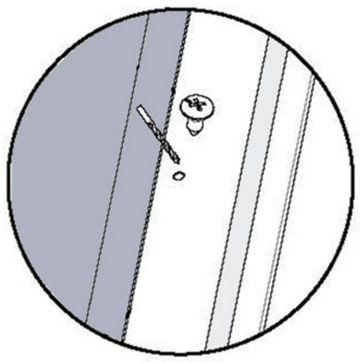
	T2	1
	S3	36
	BF11	1

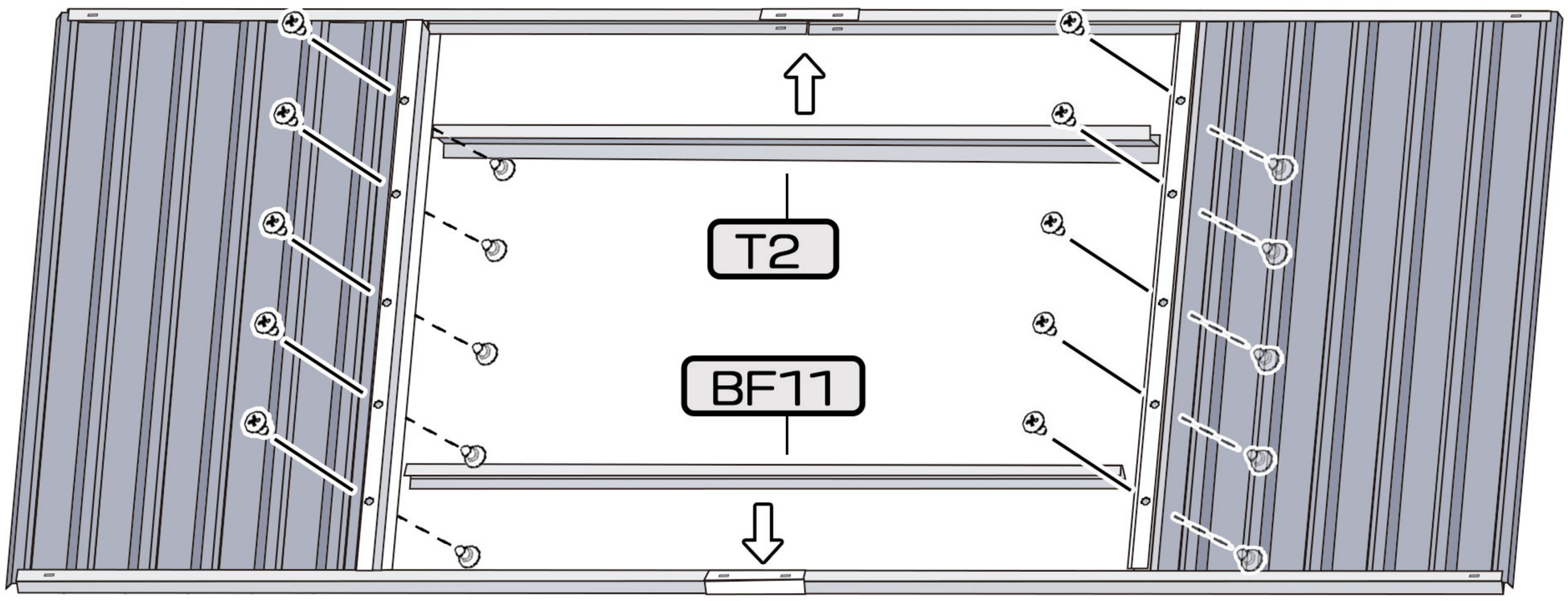
組み立て前にパーツが
揃っているかの
確認をお願いします。

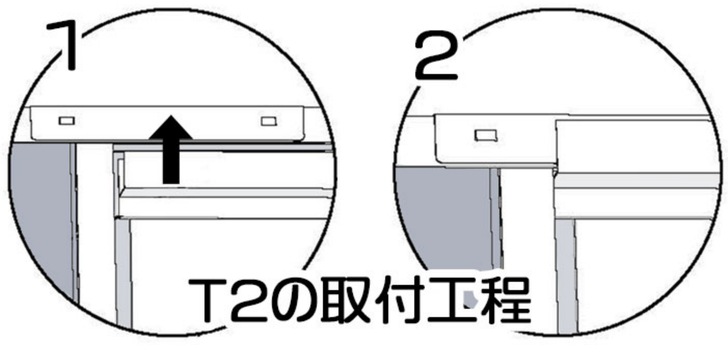
S3×20

取り付けた入口側面MS3の固定をします。
S3のネジを使います。
ネジ穴があいていない箇所がありますので
穴をあけて止めてください。

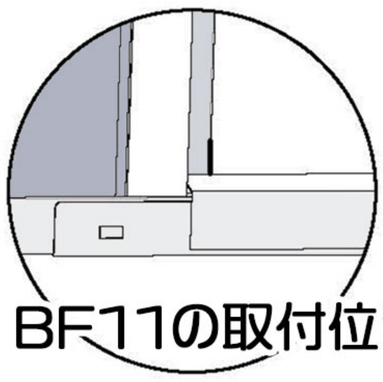
(ドリルがない方はS16のドリルビスを使い穴をあけて
S3のネジを使う方法もあります)





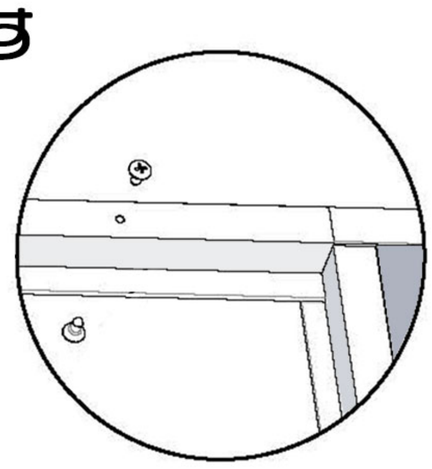


T2の取付工程

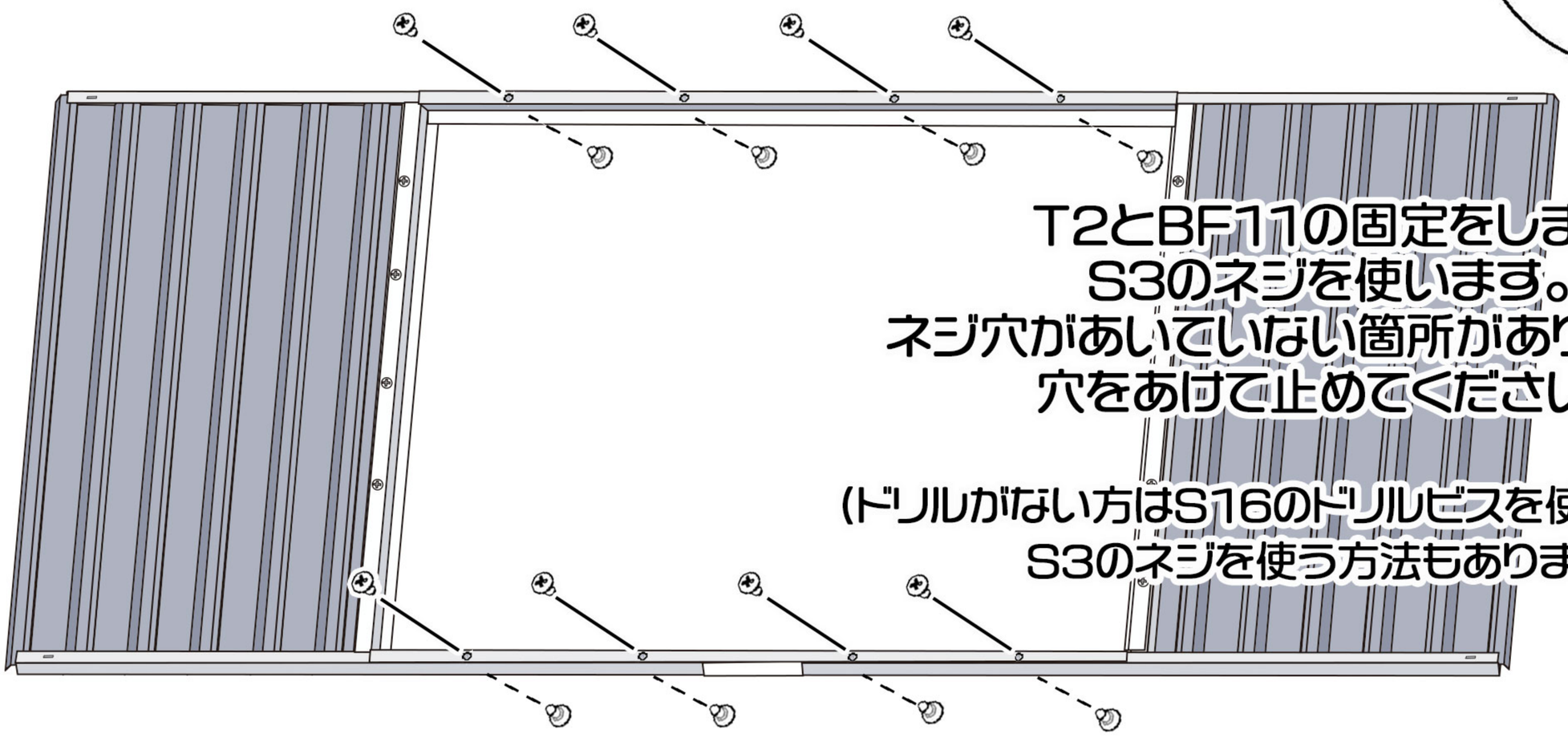


BF11の取付位置

固定が終わったらT2（扉ストッパー）とBF11の取付を行います。
T2は全てをかぶせて取り付けます
BF11はドアストッパー以外を
かぶせるように取り付けます。
（左図参照）



S3×16



T2とBF11の固定をします
S3のネジを使います。
ネジ穴があいていない箇所がありますので
穴をあけて止めてください。

(ドリルがない方はS16のドリルビスを使い穴をあけて
S3のネジを使う方法もあります)

扉の組み立て

左と右のドアの組み立て

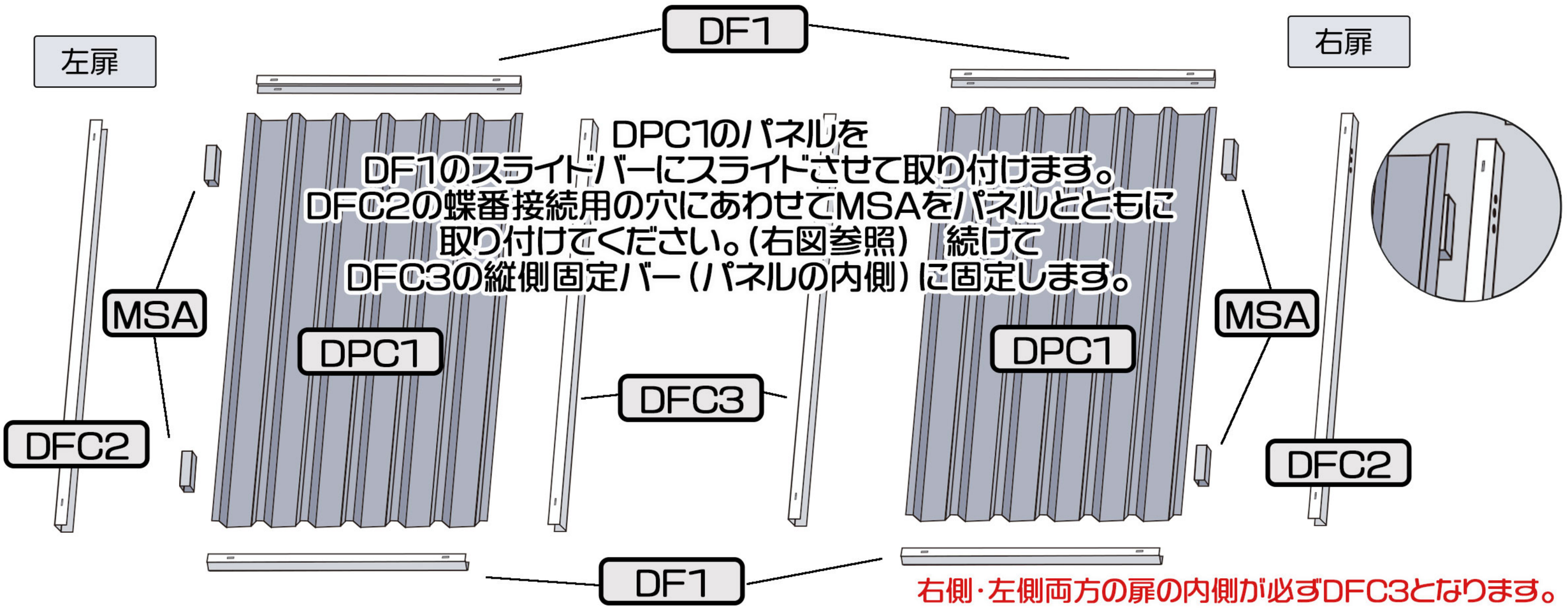
左扉のパーツ

	DPC1	1		DF1	2
	DFC2	1		DFC3	1
	C12	4		MSA	2
	DTC	1		S3	4

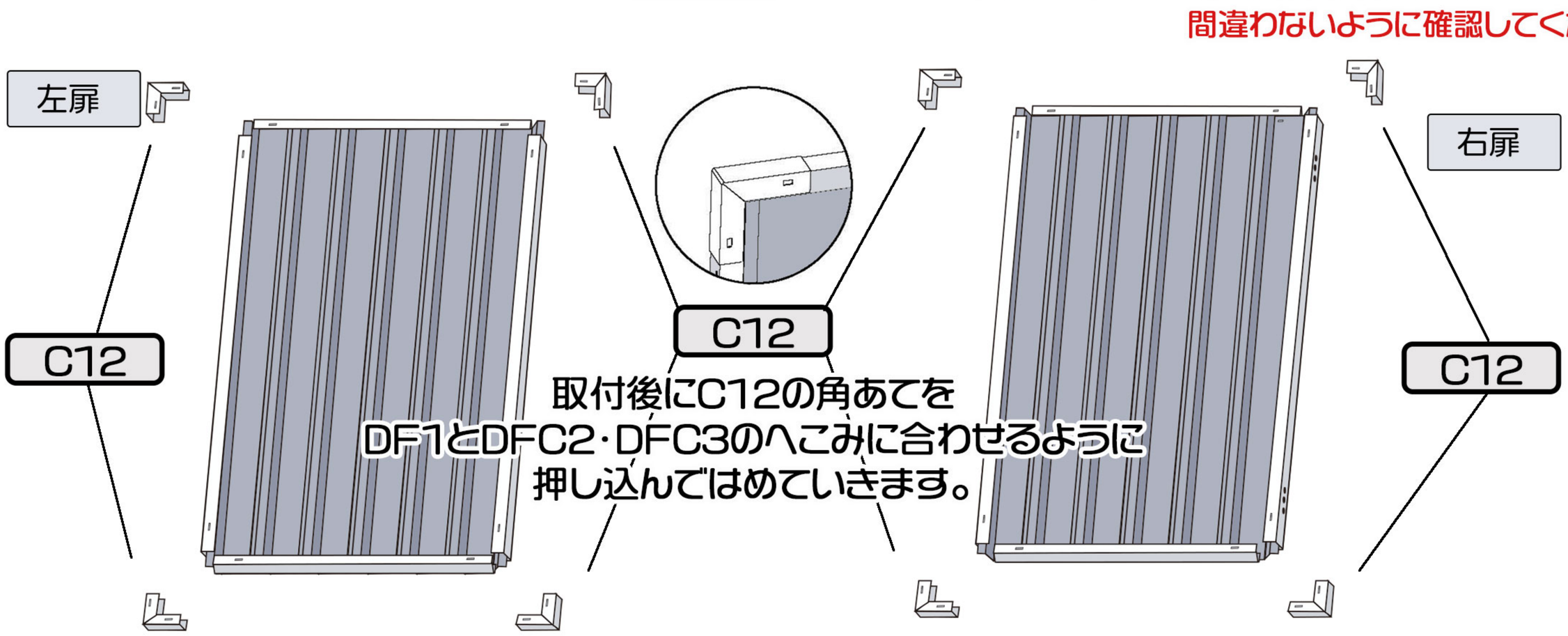
右扉のパーツ

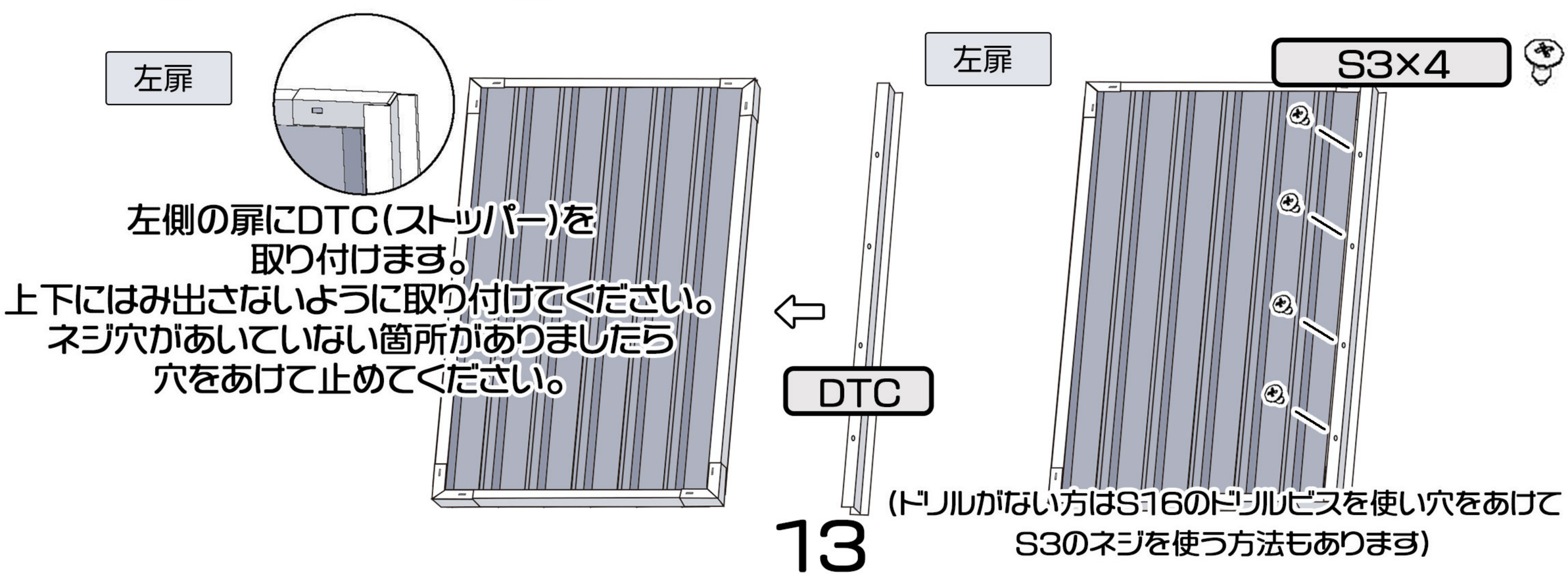
	DPC1	1		DF1	2
	DFC2	1		DFC3	1
	C12	4		MSA	2

組み立て前にパーツが揃っているかの確認をお願いします。



右側・左側両方の扉の内側が必ずDFC3となります。
間違わないように確認してください。

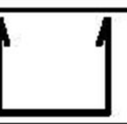
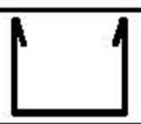
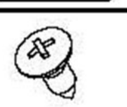
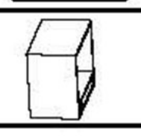




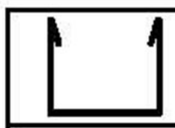
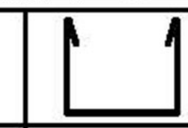
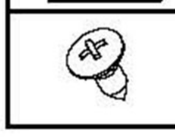
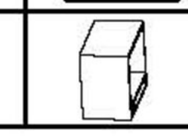
扉の組み立て　2

ドア裏面部分の組み立て

左扉のパーツ

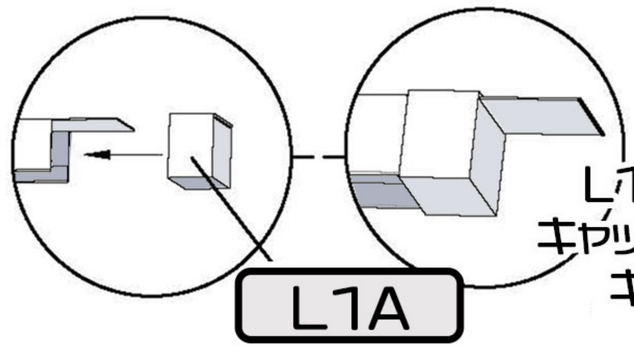
	DFU1	1		DFU2	2
	S3	6		L1A	6

右扉のパーツ

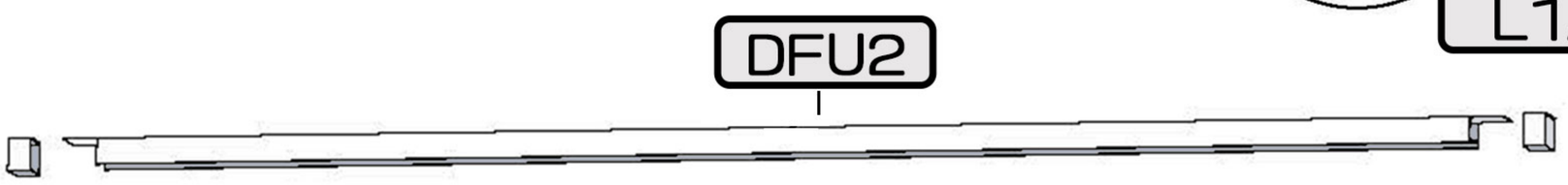
	DFU1	1		DFU2	2
	S3	6		L1A	6

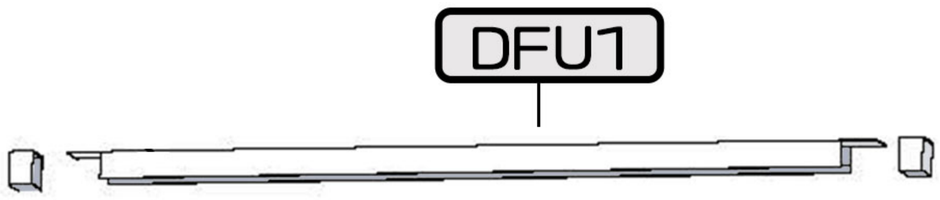
組み立て前にパーツが揃っているかの確認をお願いします。

DFU2の補強バーを作成します。
バーの両端に
L1Aのキャップを取り付けます。
扉の左右2本ずつ計4本作ります。

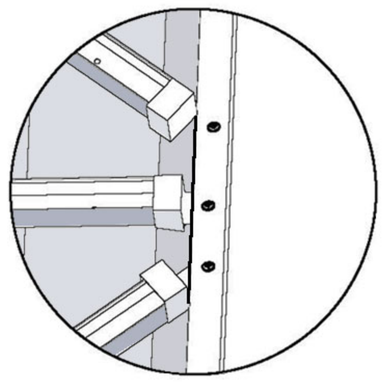


L1Aのキャップを取り付ける時に
キャップの向きに気をつけてください。
キャップの頭を押すと切り口が
確認できますので
切り口と差し込み部分を合わせて
取り付けてください。

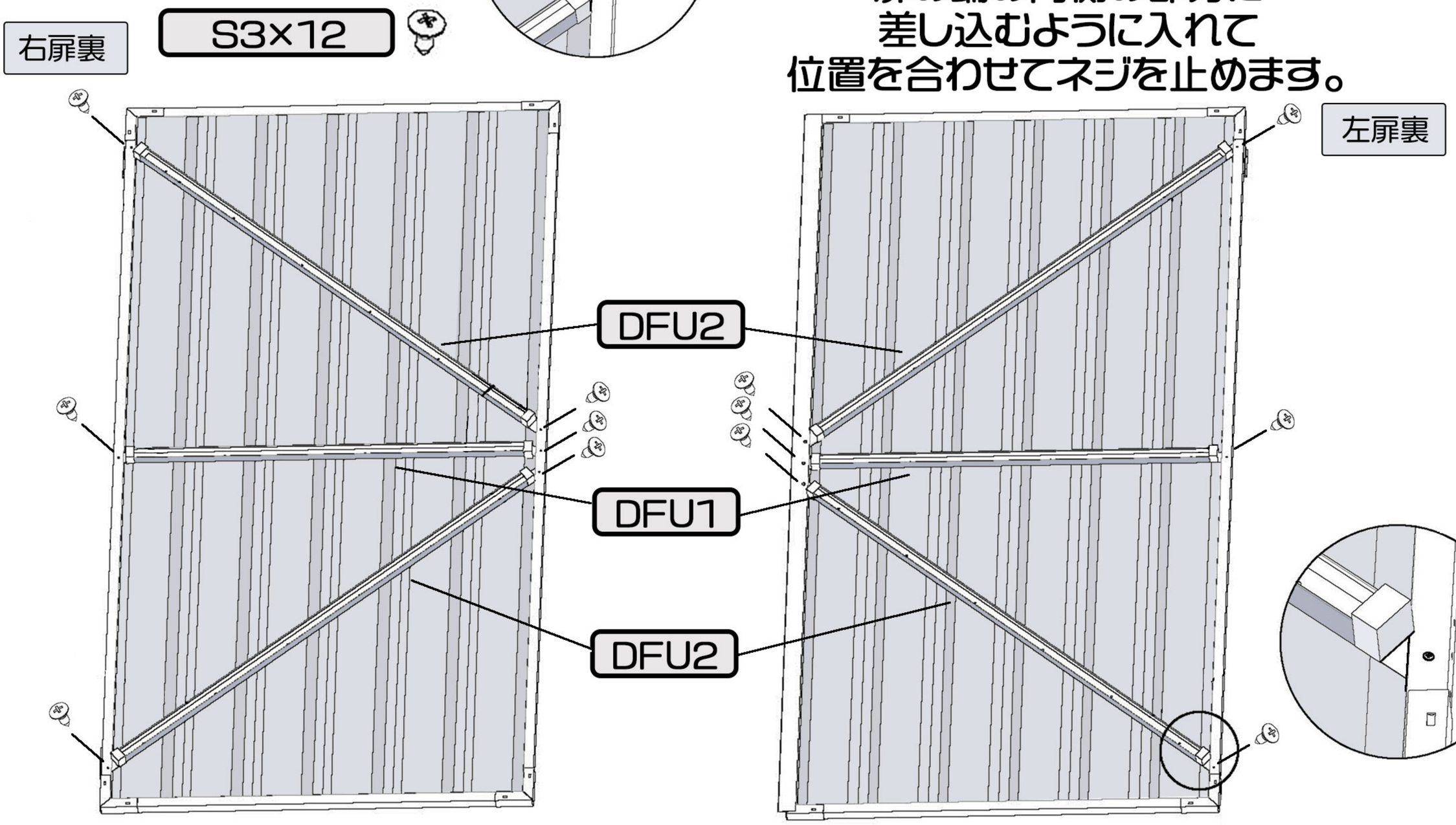


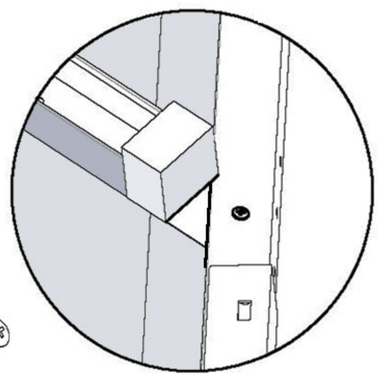


DFU1の補強バーを作成します。
バーの両端に
L1Aのキャップを取り付けます。
扉の左右1本ずつ計2本作ります。



扉の裏側に補強バーを取り付けます
取り付ける時に
扉の端の内側の部分に
差し込むように入れて
位置を合わせてネジを止めます。



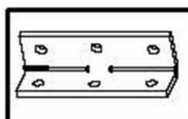


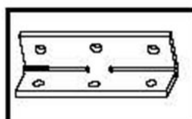
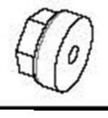
ネジ穴があいていない箇所がありましたら
穴をあけて止めてください。

(ドリルがない方はS16のドリルビスを使い穴をあけて
S3のネジを使う方法もあります)

扉の組み立て　３

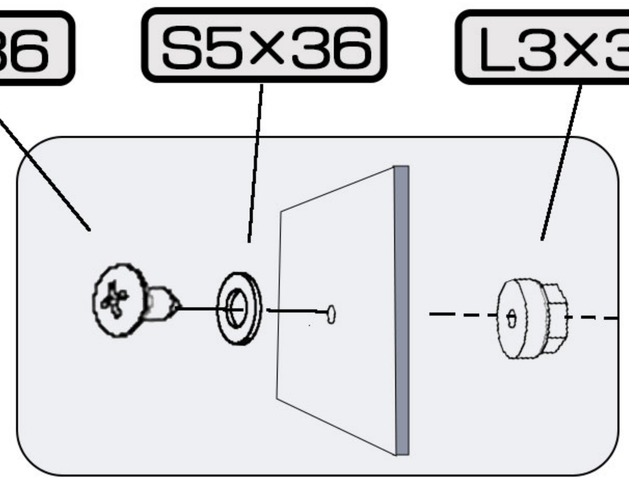
ドア表面部分の補強と蝶番の取付け

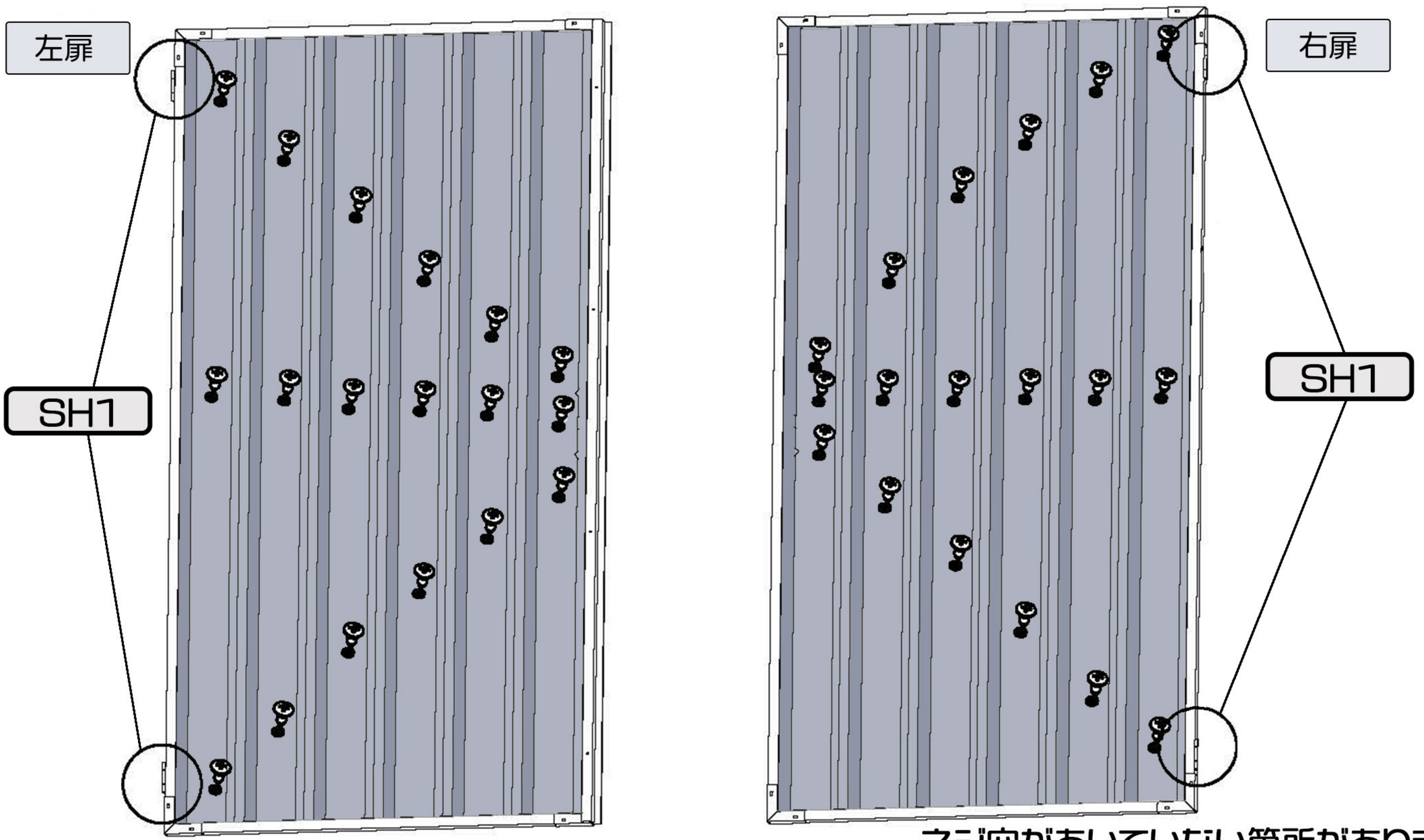
	SH1	2		S3	18
	S16	6		L3	18
	S5	18			

	SH1	2		S3	18
	S16	6		L3	18
	S5	18			

組み立て前にパーツが揃っているかの確認をお願いします。

扉裏面の補強バーを表からもネジで補強します。
S3⇨S5（ワッシャー）で止めます。
取付が終わったらドア裏面のネジの飛び出し部分に
L3（安全キャップ）を使って止めてください

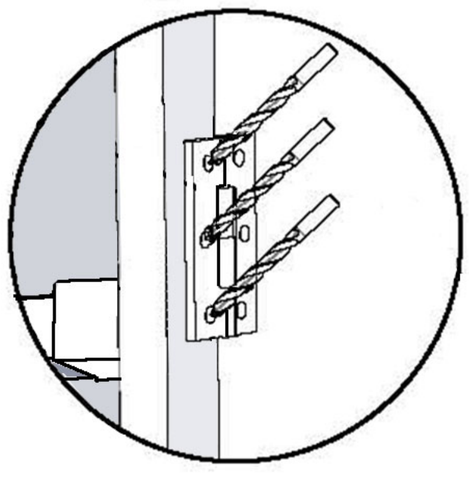




ネジ穴があいていない箇所がありましたら
穴をあけて止めてください。
（ドリルがない方はS16のドリルビスを使い穴をあけて
S3のネジを使う方法もあります）

S16×12 

 S7×12



上図○部分に蝶番の取付けを行います。
三つの穴のあいた部分
（裏面にMSAのパーツを取り付けた箇所）に
S16の（ドリルビス）を使って取付けます。
向きと位置を間違わないように気をつけてください。

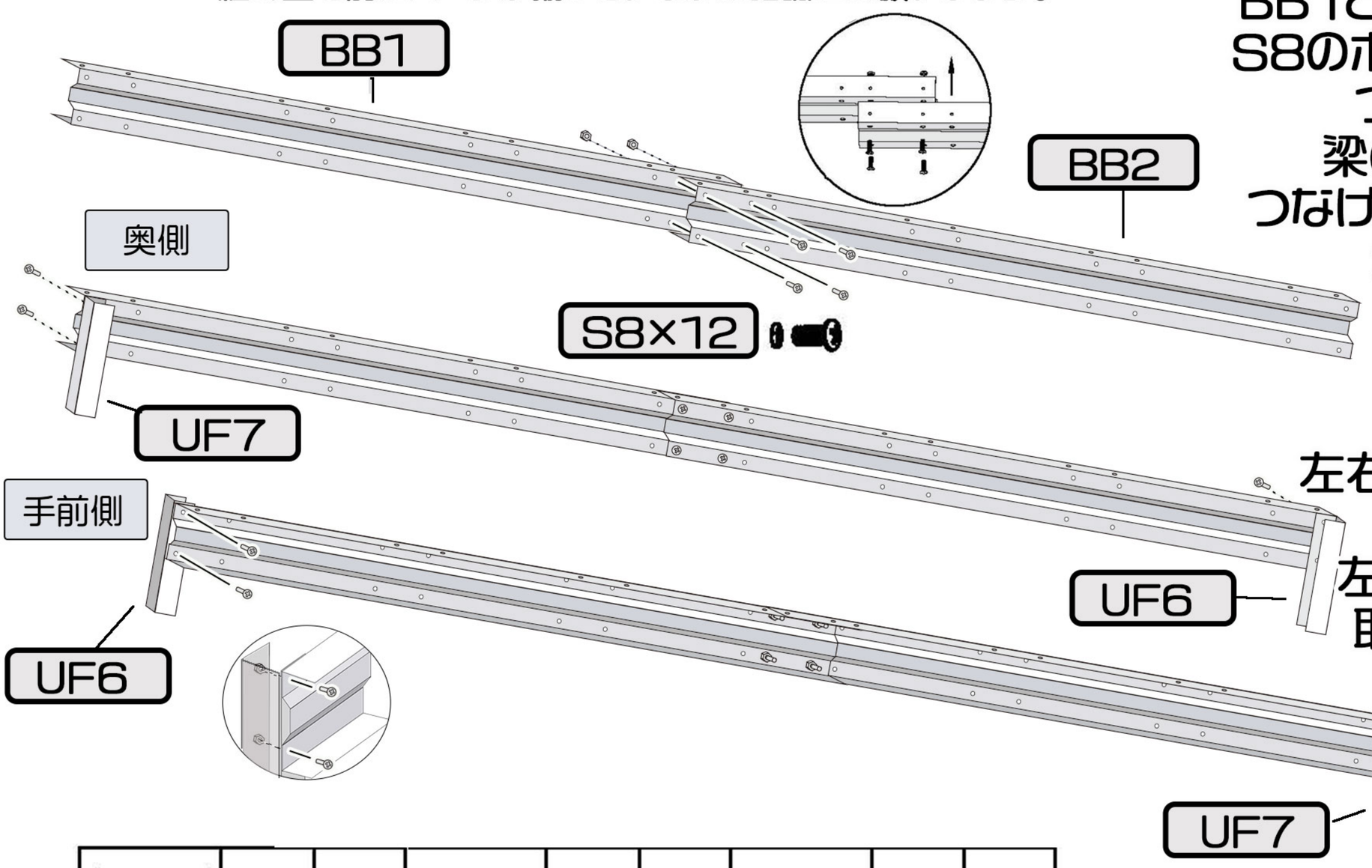
S16を取り付けるか、その部分に穴をあけた後
S7（リベット）を打つこともできます。
（リベットを打つ場合はリベッターガンが必要となります。）

梁の組み立て

左右屋根の梁と中央部分の梁の組み立て

	BB1	2		BB2	2		S8	24		UF6	2		UF7	2

組み立て前にパーツが揃っているかの確認をお願いします。

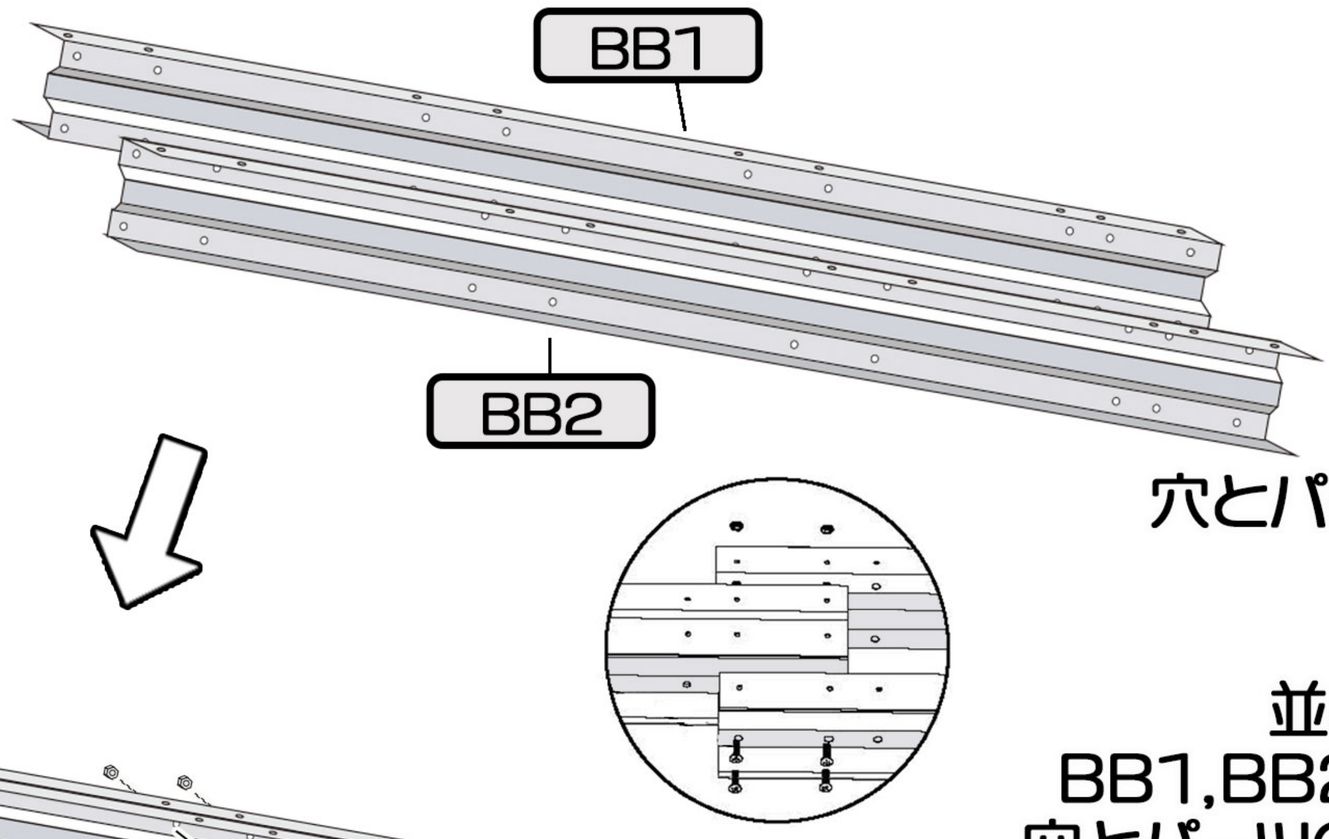


BB1とBB2の梁をつなげます
S8のボルトとナットを使用して
つなげてください。
梁の向きに気をつけて
つなげるようにしてください。
2本作製します。

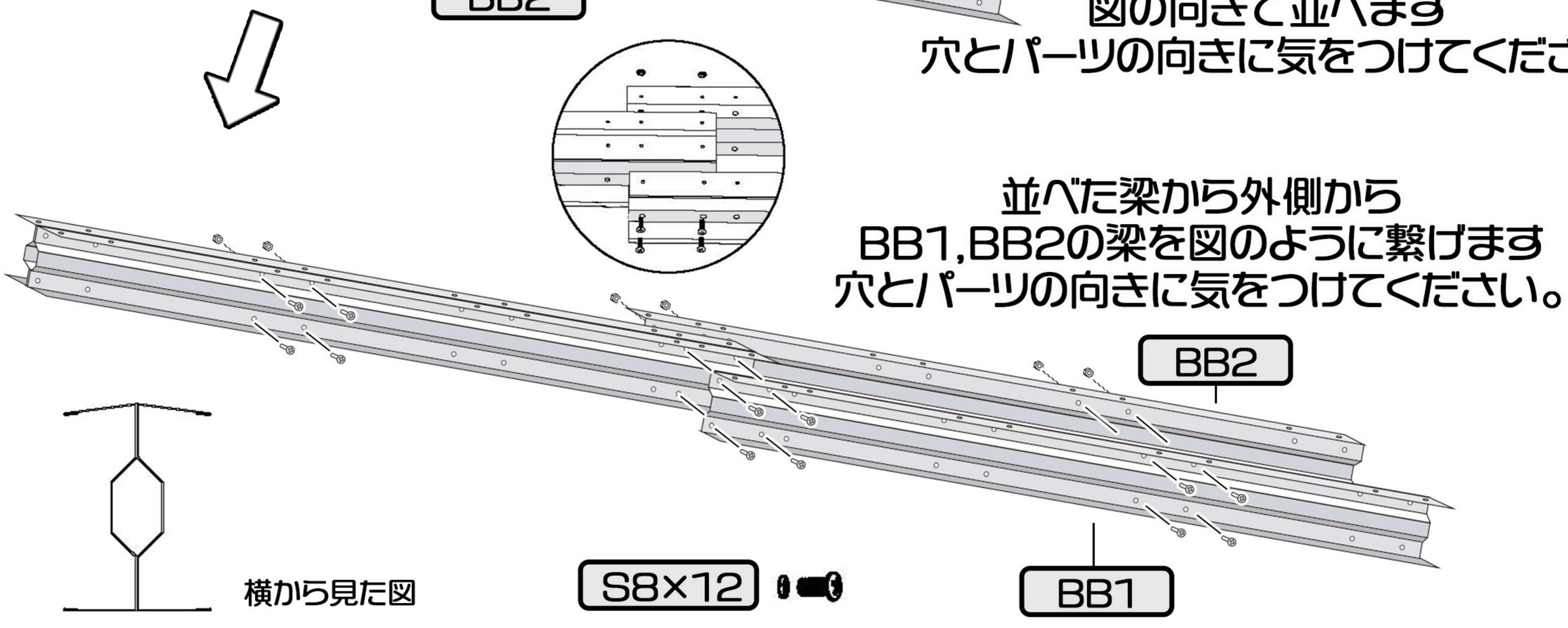
作成した2本の梁に
左右それぞれにUF6・UF7を
取り付けます。
左図のようになりますので
取付け向き等気をつけて
取り付けてください。

	BB1	2		BB2	2		S8	12

組み立て前にパーツが揃っているかの確認をお願いします。



中央の梁を作成します。
まずBB1とBB2梁を
図の向きで並べます
穴とパーツの向きに気をつけてください。



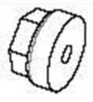
並べた梁から外側から
BB1,BB2の梁を図のように繋げます
穴とパーツの向きに気をつけてください。

横から見た図

S8×12

パネルの取付

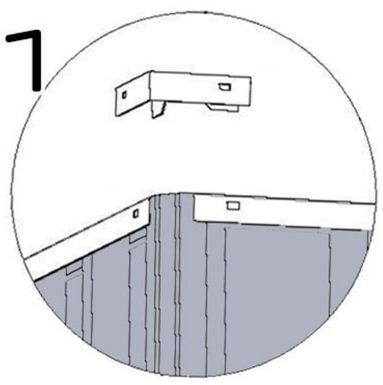
壁パネルと切妻パネルの取付

	GL3	2		GR3	2
	S3	32		L3	16
	S5	20		C1	8

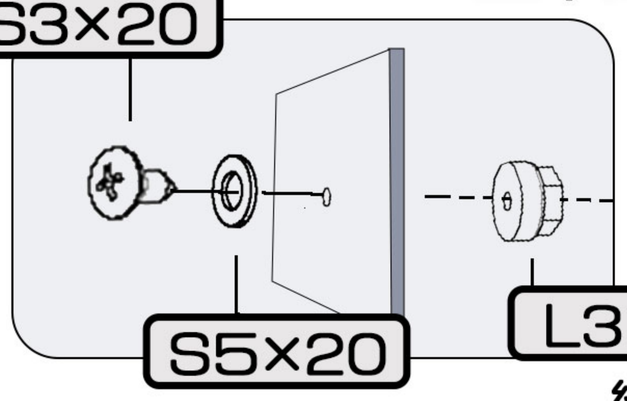
組み立て前にパーツが揃っているかの確認をお願いします。

壁パネルの取付けを行います。
角面を取り付けるときC1をバーの凹みに合わせて
上下にそれぞれ（計8個）取り付けます。
設置後角の壁に重なる部分を
S3⇨S5（ワッシャー）⇨壁で止め
壁の裏面⇨L3（安全キャップ）を
使用してとめてください。

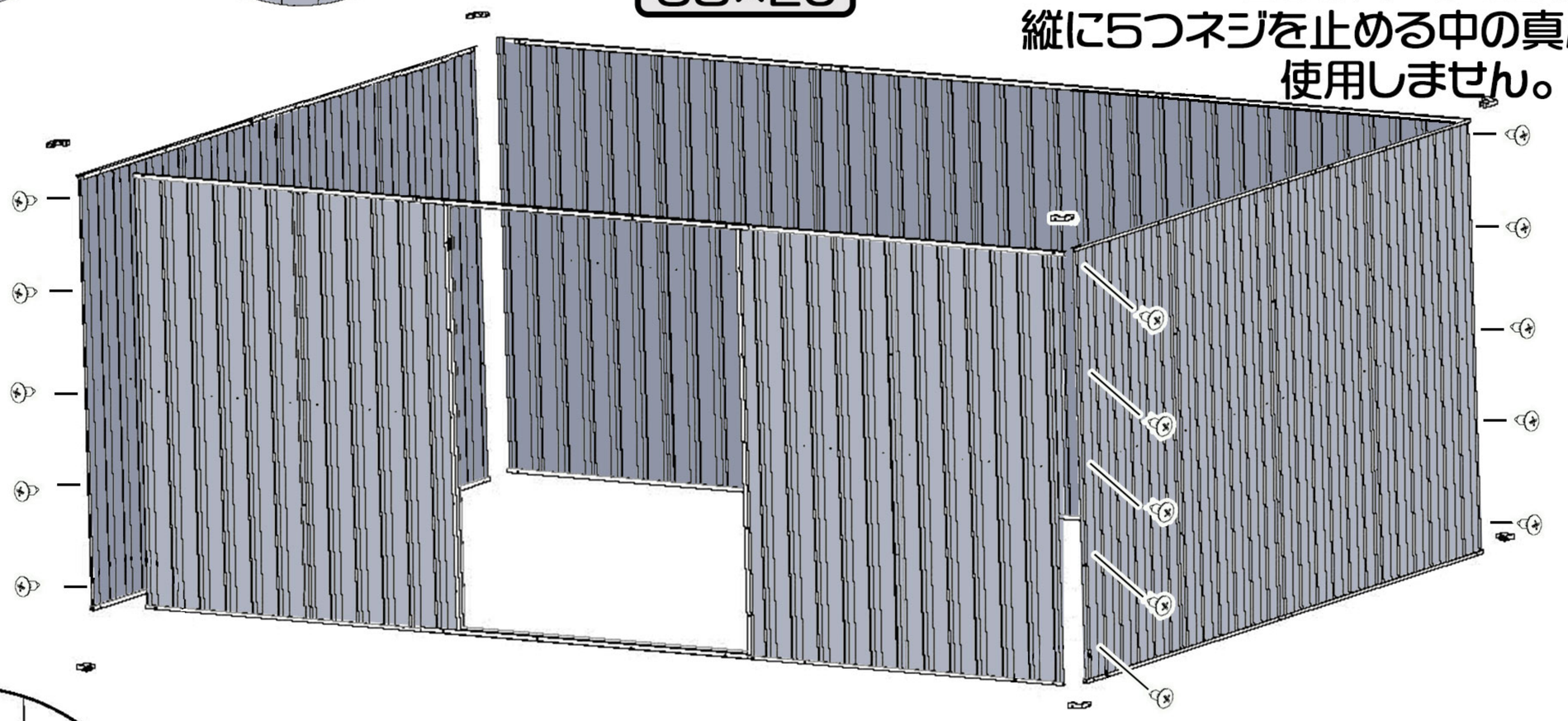
C1×8



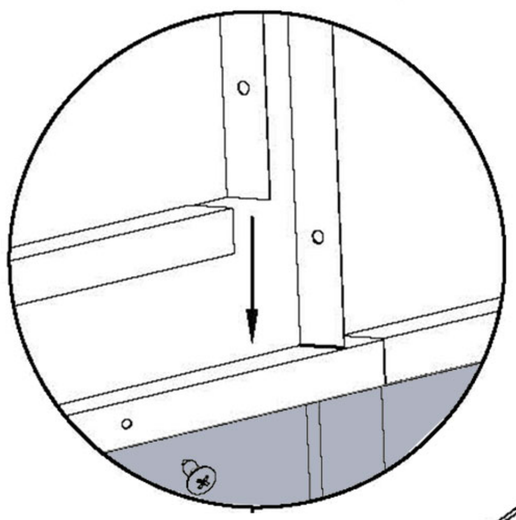
S3×20



L3のパーツですが
縦に5つネジを止める中の真ん中部分には
使用しません。



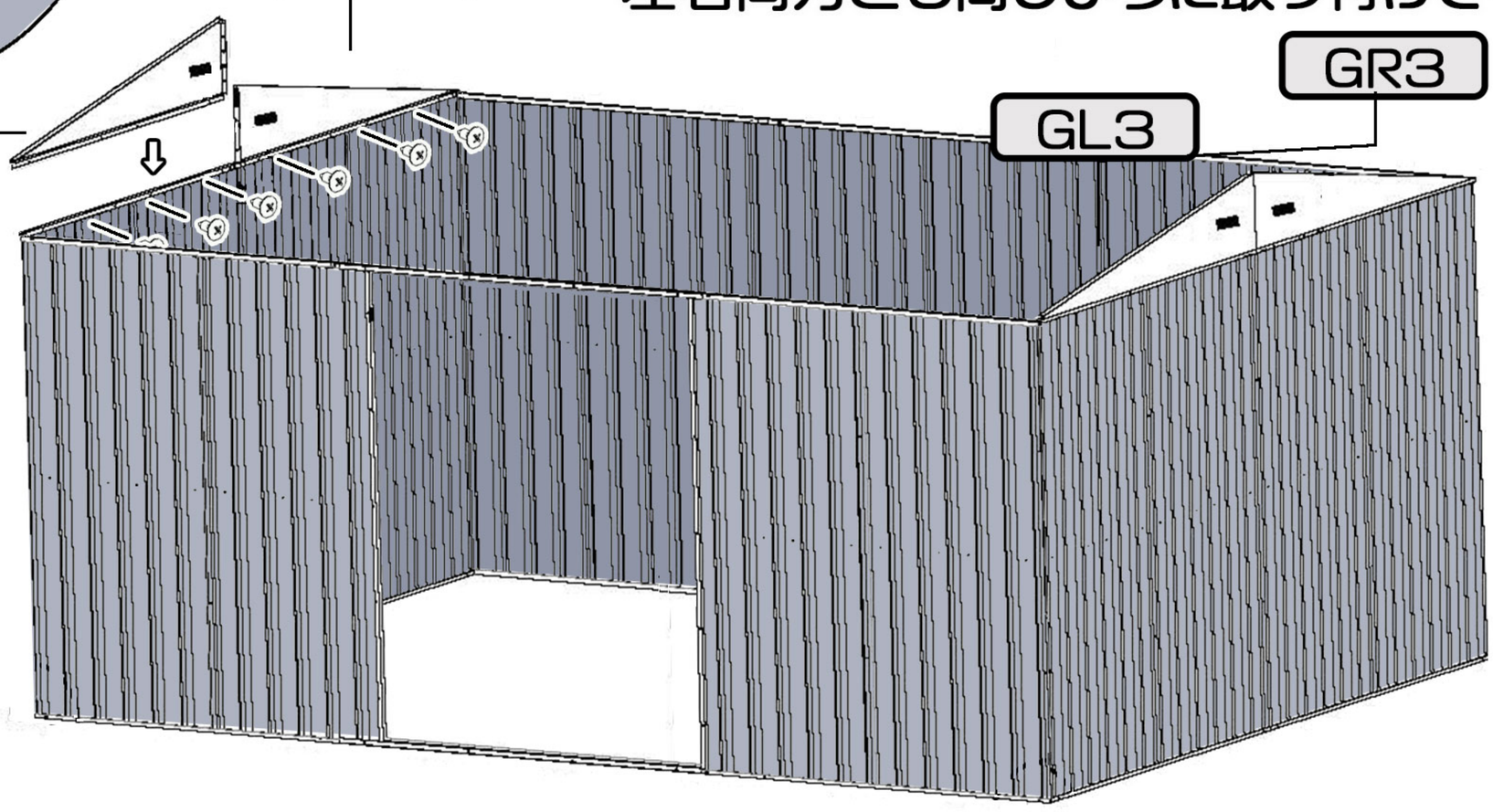
S3×16



切妻パネルを取り付けます。
GL3/GR3を向きに気をつけながら
壁のバーに乗せるように置いて
内側からS3のネジを使用して止めていきます。
左右両方とも同じように取り付けてください。

GL3

GR3

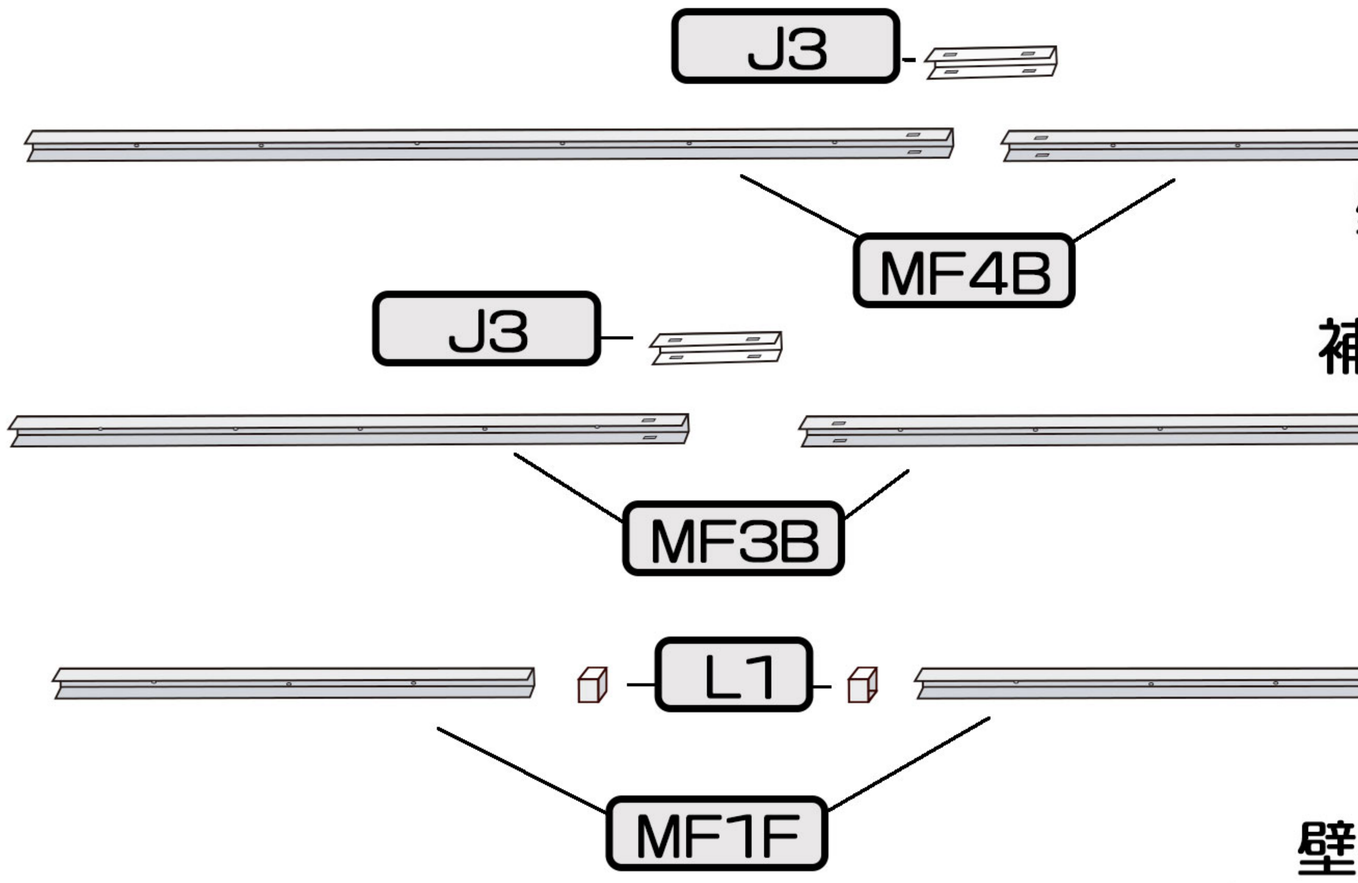


壁パネル内側の補強

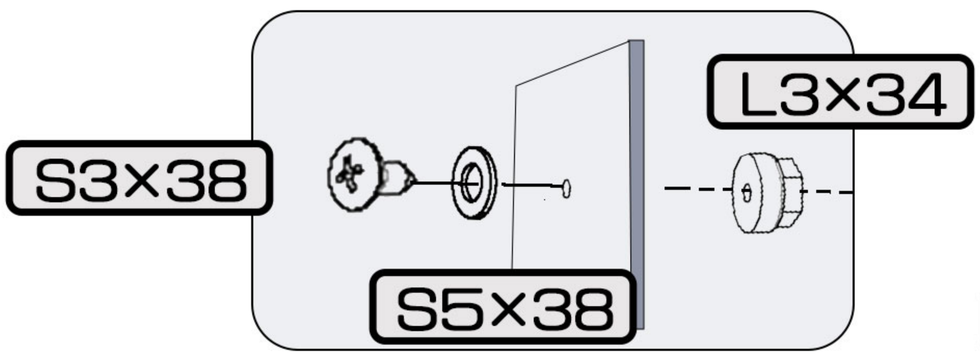
壁パネル内側に補強用バーの取付

	MF4B	2		J3	3		C23	4		S3	54		L3	34
	MF3B	4		MF1F	2		L1	2		S5	38			

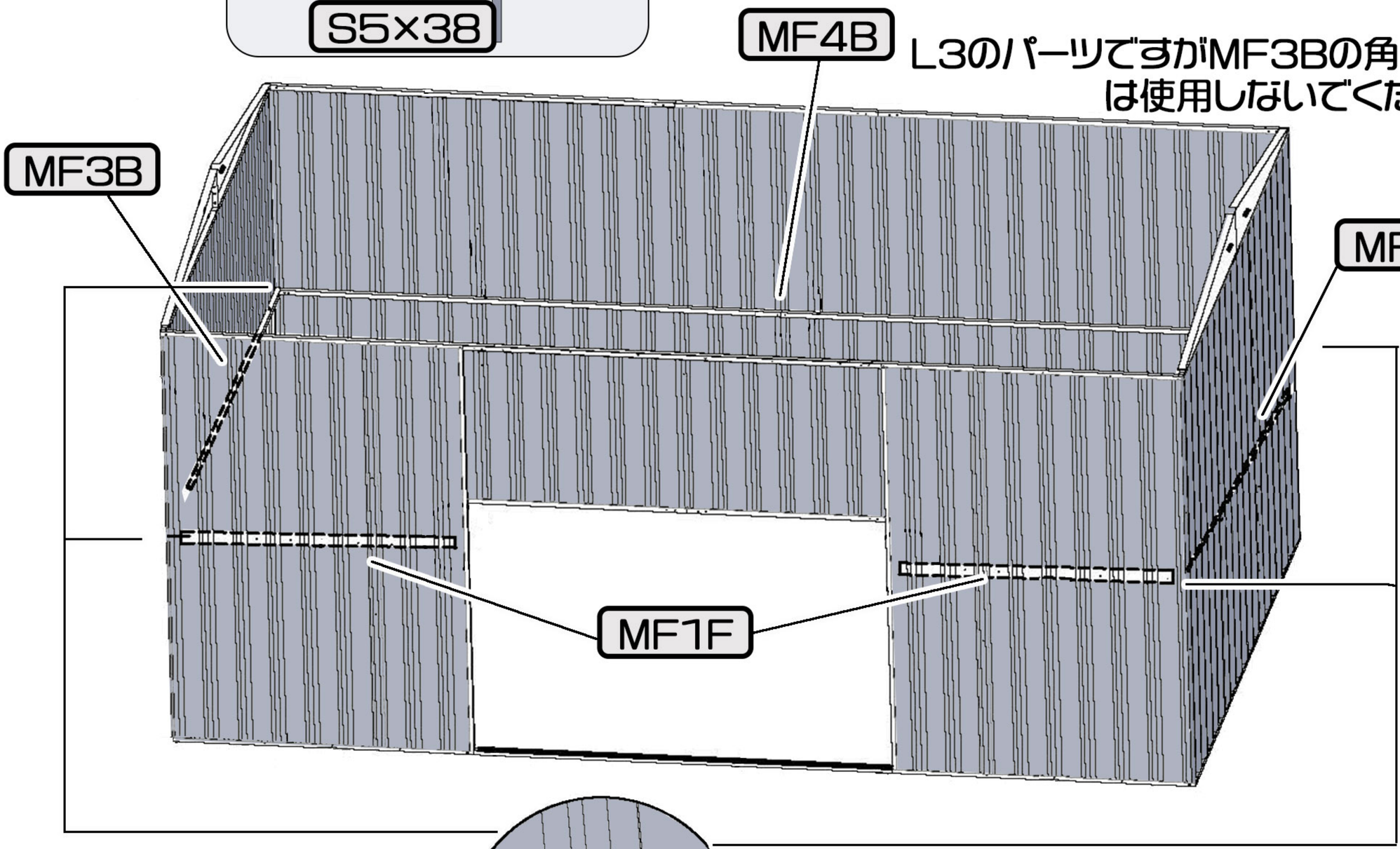
組み立て前にパーツが揃っているかの確認をお願いします。



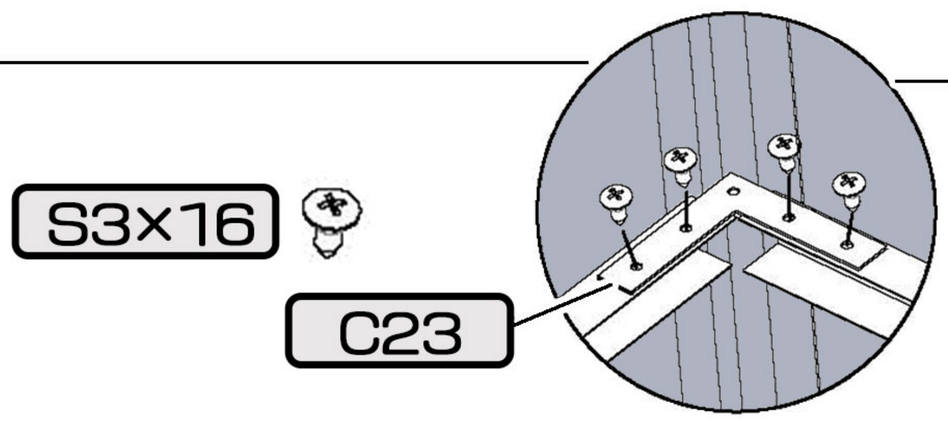
壁パネルの補強用バーの取付を行います。
MF4B（奥）・MF3B（横）の
補強バーを2つ用意してJ3に取り付けます。
横（MF3B）は2本必要ですので
2本作成して準備してください。
MF1BにはL1のキャップを
倉庫入口の内側に取り付けます。
2本ご用意ください。



壁パネルの内側に補強用バーを入れて
壁パネルのおおよそ真ん中あたりに取付けます
バーについてる穴に合わせて
壁パネルに穴をあけて取り付けていきます。
平行に気をつけて取り付けていってください。



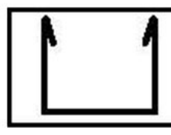
L3のパーツですがMF3Bの角（C23の下あたり）
は使用しないでください。



取り付けたらバーの端（4ヶ所）に
C23（角のプレート）を
取り付けます。プレートに合わせて
バーに穴をあけて取り付けてください。

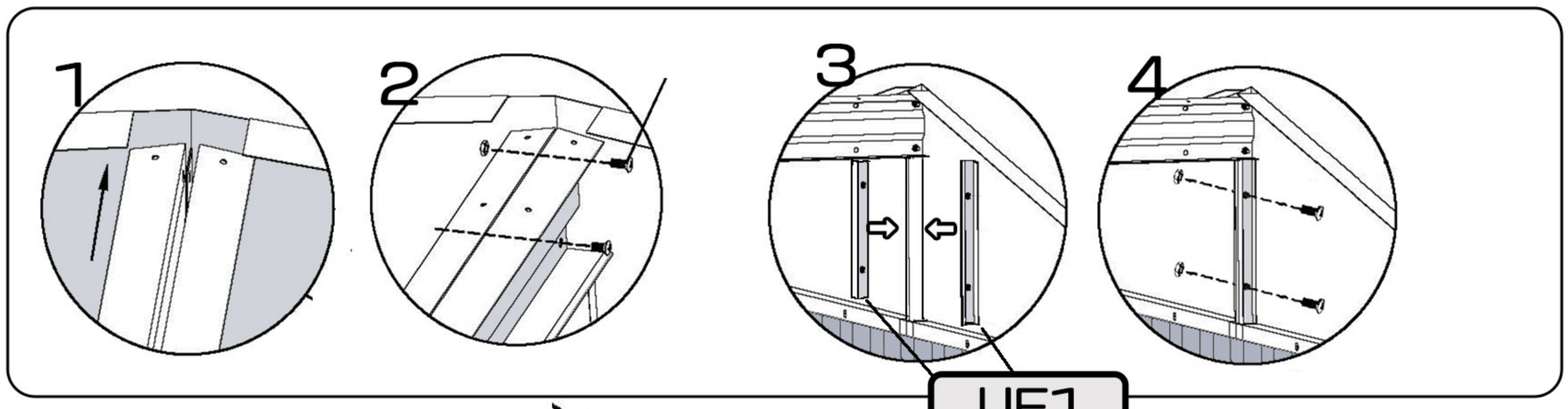
梁の取付け

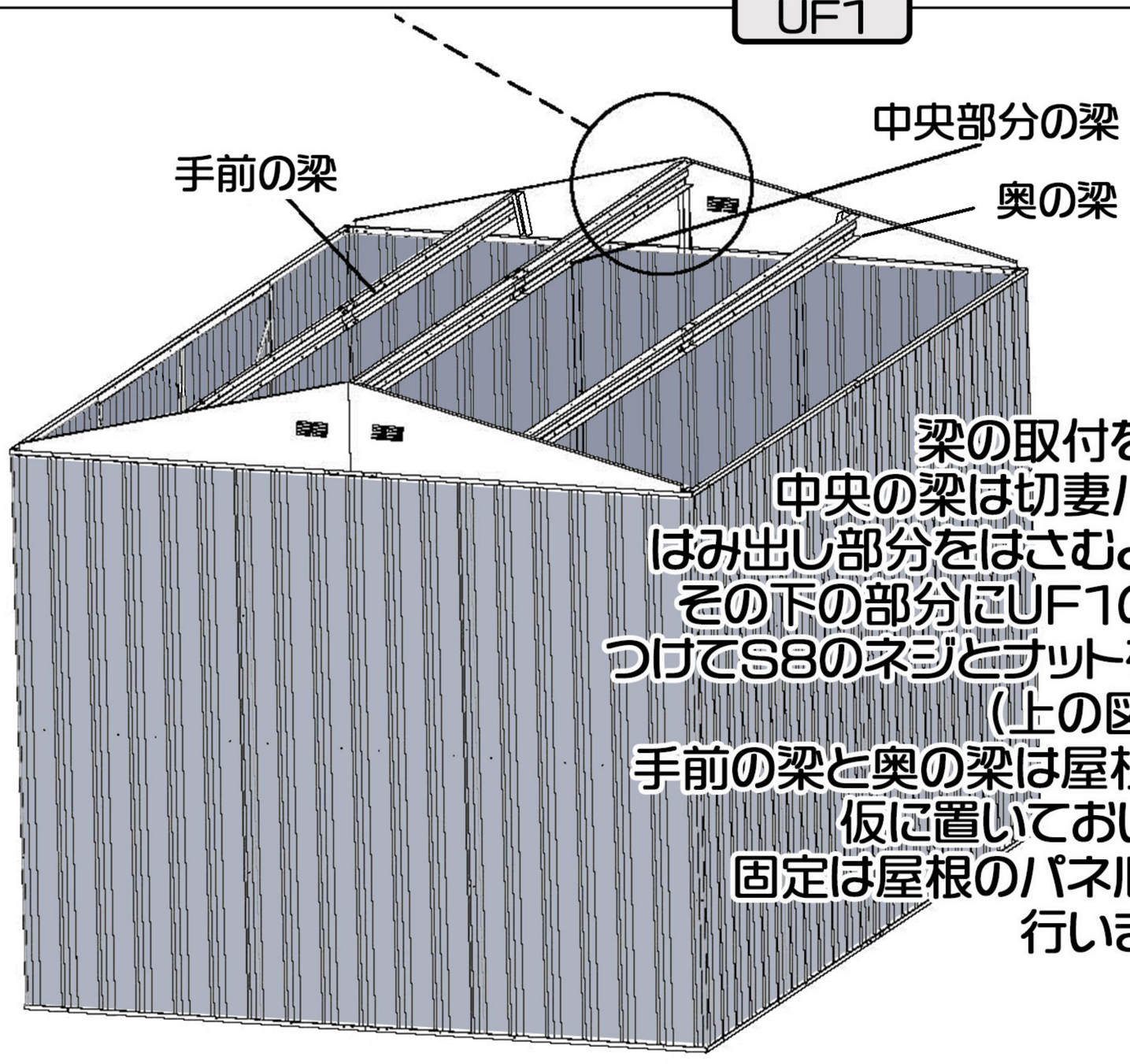
倉庫内部の梁の取付

	UF1	4		S8	8

組み立て前にパーツが揃っているかの確認をお願いします。

S8×8 



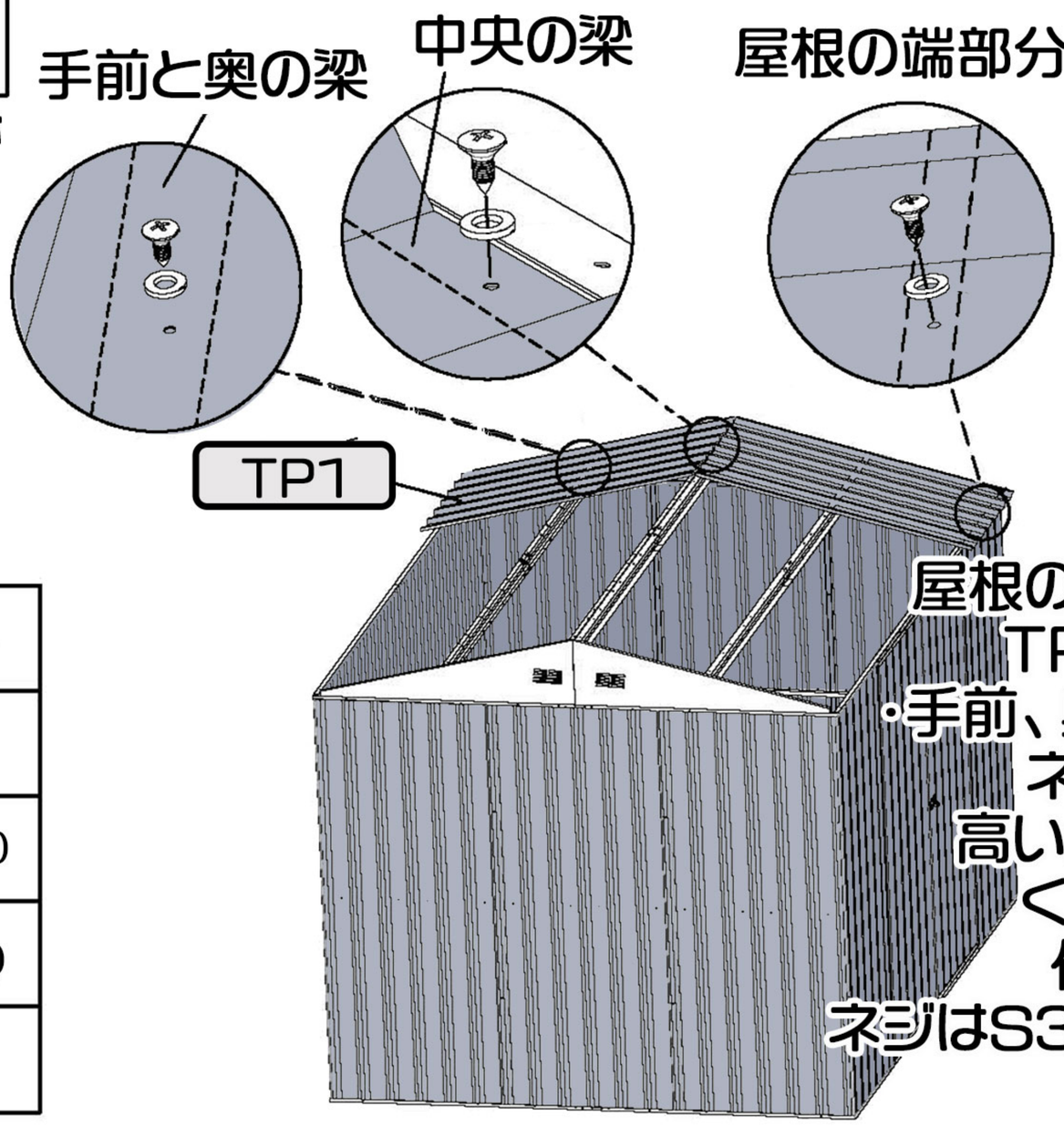


梁の取付を行います
中央の梁は切妻パネルの真ん中の
はみ出し部分をはさむように止めていきます。
その下の部分にUF1の支え部分のパーツを
つけてS8のネジとナットを使って止めてください。
（上の図参照）
手前の梁と奥の梁は屋根の取付時に使うために
仮に置いておいてください。
固定は屋根のパネルを取り付けた後で
行います。

屋根の取付け

	TP1	2
	S3	24
	S5	24

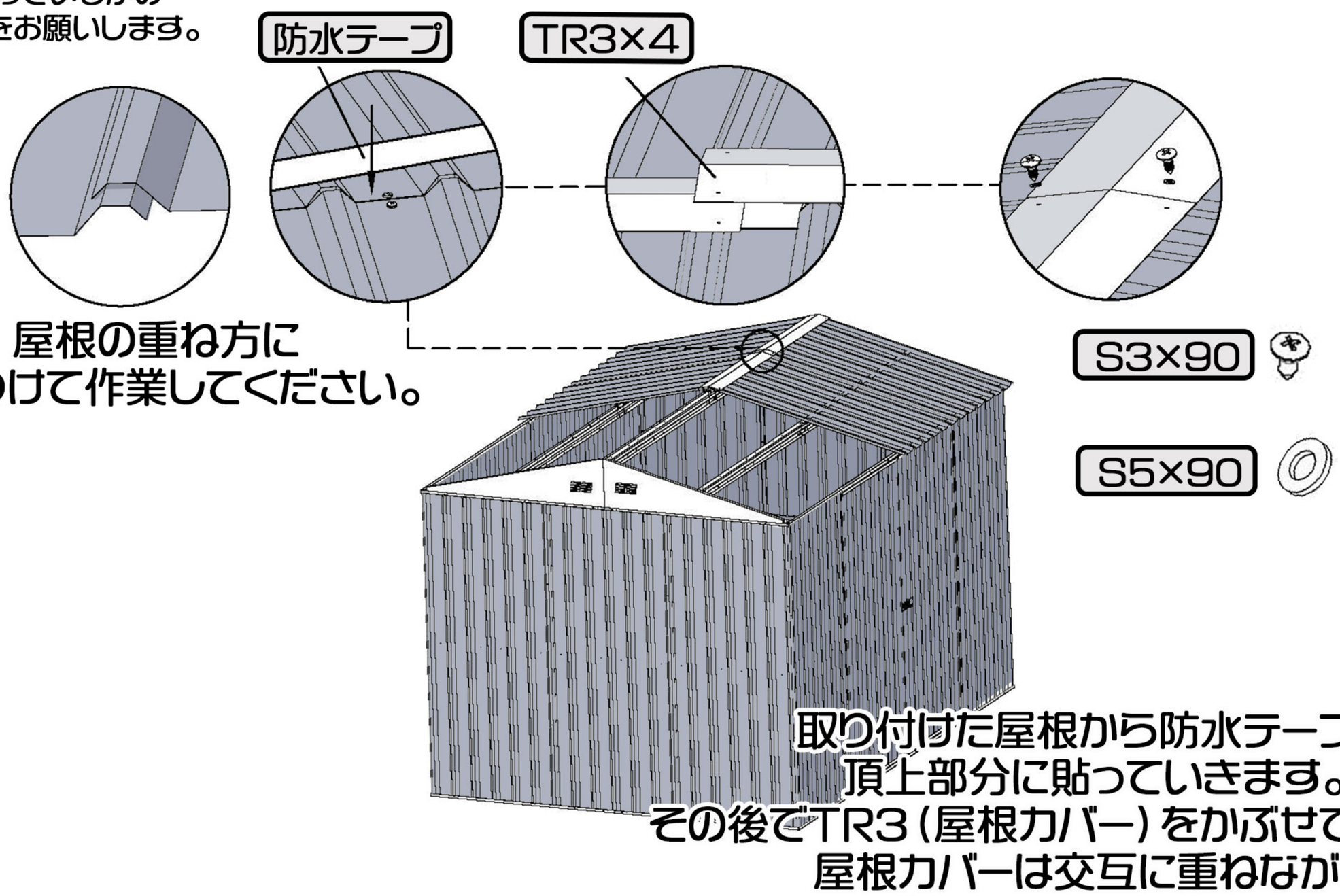
組み立て前にパーツが
揃っているかの
確認をお願いします。



屋根のパネルの取付を行います。
TP1のパネルを中央の梁
・手前、奥の梁・壁パネルの上部分に
ネジで止めていきます。
高い場所での作業が多いので
くれぐれも気をつけての
作業をお願いします。
ネジはS3、S5（防水用のワッシャー）を
使用してください。

	TR3	4
	TP1	6
	S3	90
	S5	90
	防水テープ	

組み立て前にパーツが
揃っているかの
確認をお願いします。

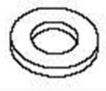


屋根の重ね方に
気をつけて作業してください。

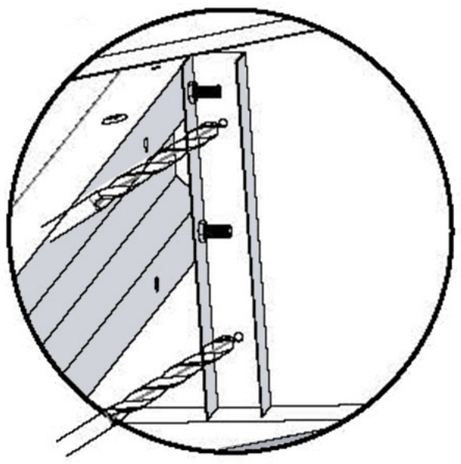
取り付けた屋根から防水テープを
頂上部分に貼っていきます。
その後でTR3（屋根カバー）をかぶせていきます。
屋根カバーは交互に重ねながら
止めていってください。
屋根の端部分はまだ止めないでください。

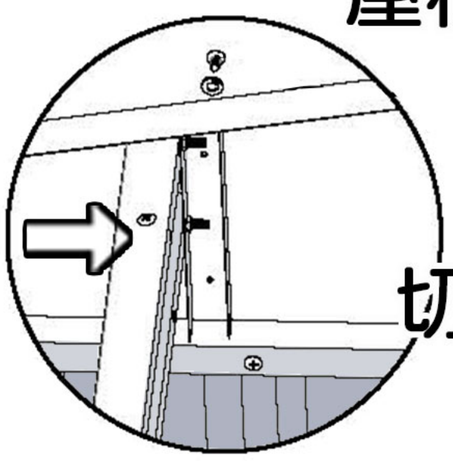
屋根の取付け　2

手前と奥の梁の固定

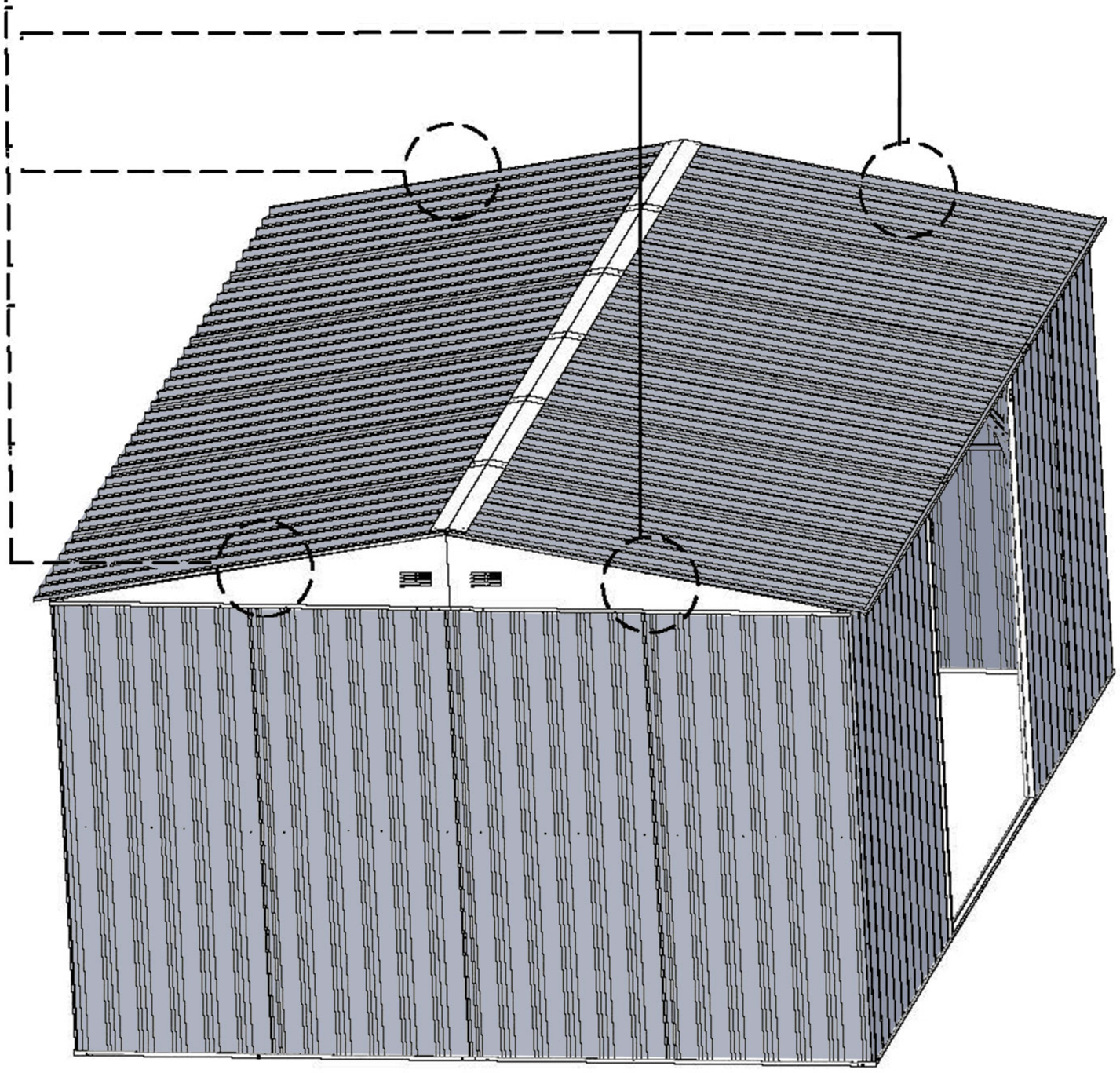
	S3	8		S5	8

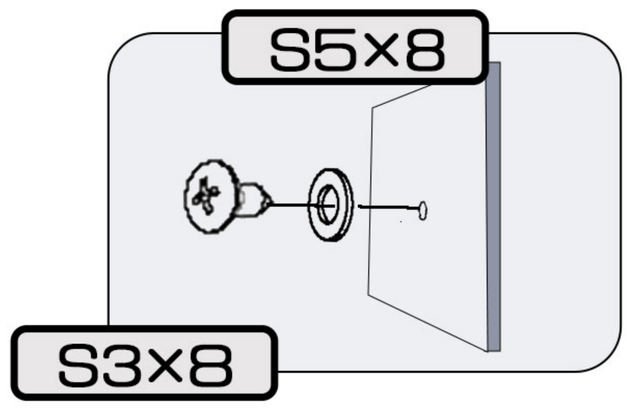
組み立て前にパーツが揃っているかの確認をお願いします。





屋根で固定された手前と奥の梁を固定します。
梁に取り付けたUF6・UF7部分を
斜めのまま切妻パネルに取り付けます。
穴をあけて
切妻パネル外側からS3⇨S5⇨切妻パネル
になります。





屋根の取付け　3

	LT1	4		LT2	4		LG3	2
	S3	18		S5	18			

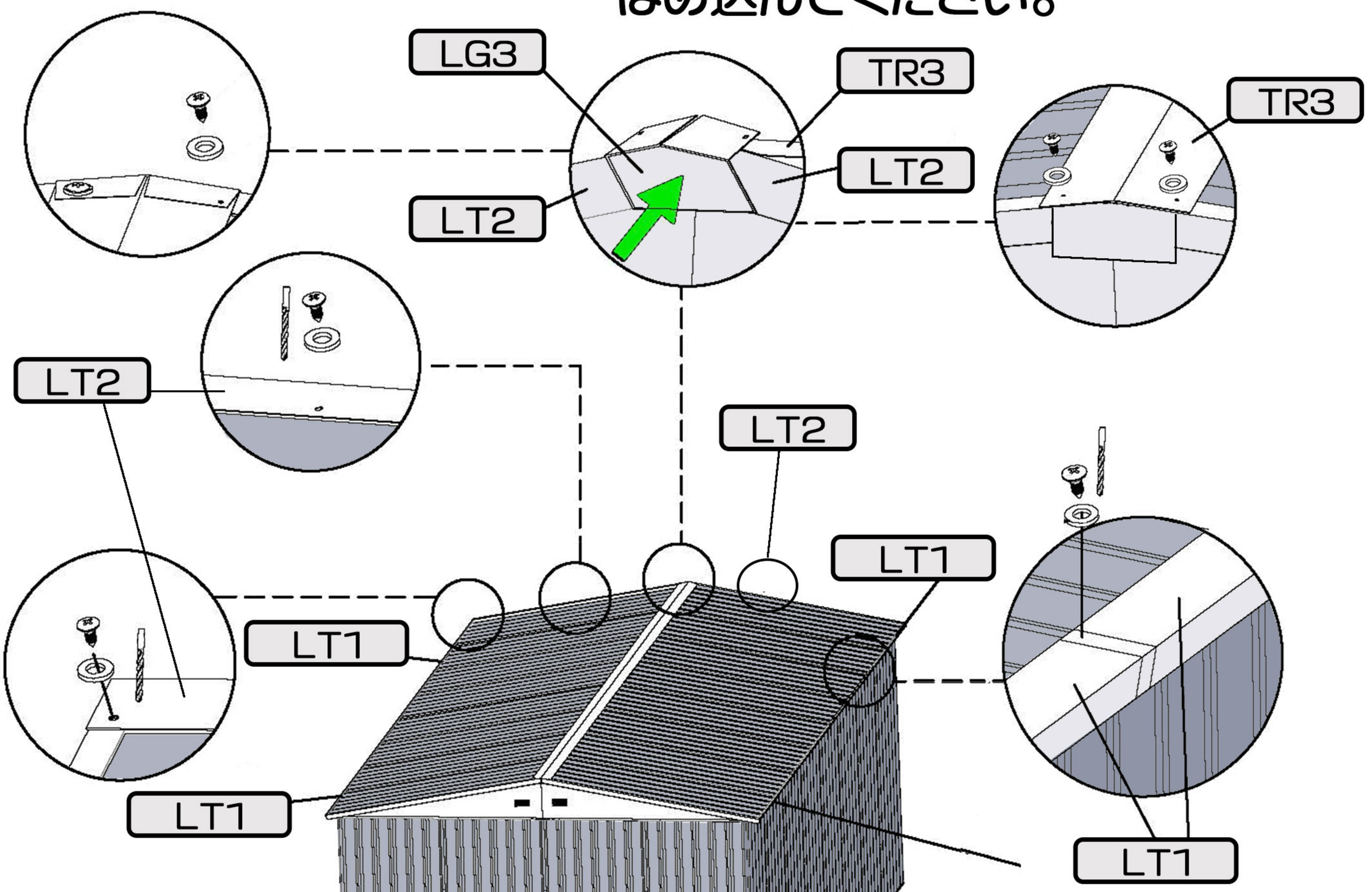
組み立て前にパーツが揃っているかの確認をお願いします。

S3×18

S5×18

屋根のカバー部分の端を作成します。
屋根カバーの端から
LT2のパーツをパネルに沿って
配置していきます。
屋根パネルの下部分の端に合わせるように
作業してください。

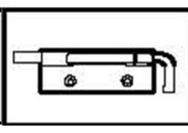
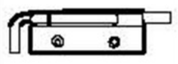
LG3を取付けます
TR3のカバーと屋根の間に
はめ込んでください。



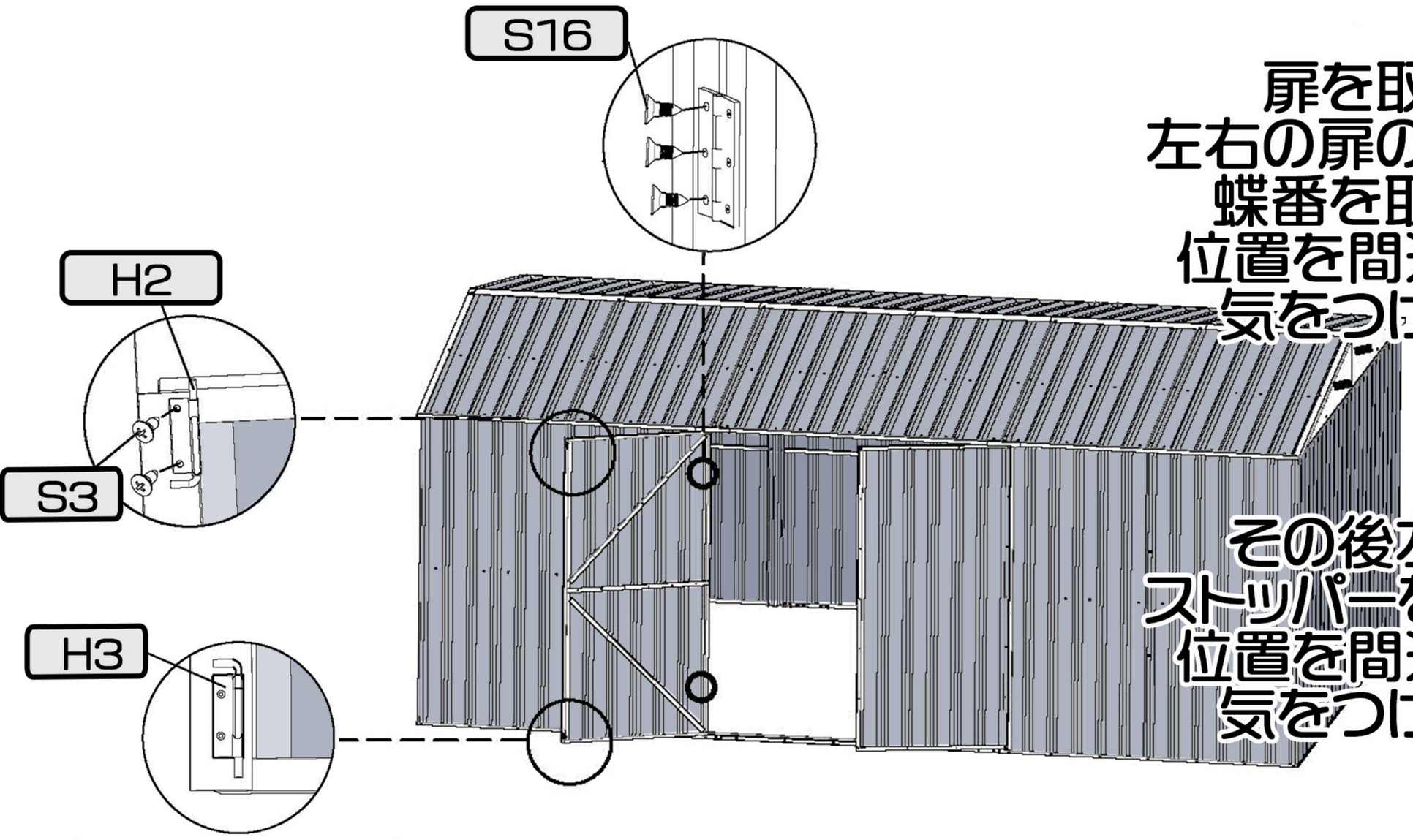
LT1を取り付けます
屋根パネルの側面に沿ってはめてください。
側面部分で2枚重なる部分を作って
そこにネジで止めるようにしてください。
LT2と交差する部分は重ねて止めてください。

扉の取付け

扉とロックとストッパーの取付け

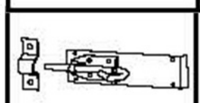
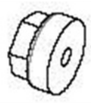
	S16	12		H2	1		H3	1		S3	4

組み立て前にパーツが揃っているかの確認をお願いします。

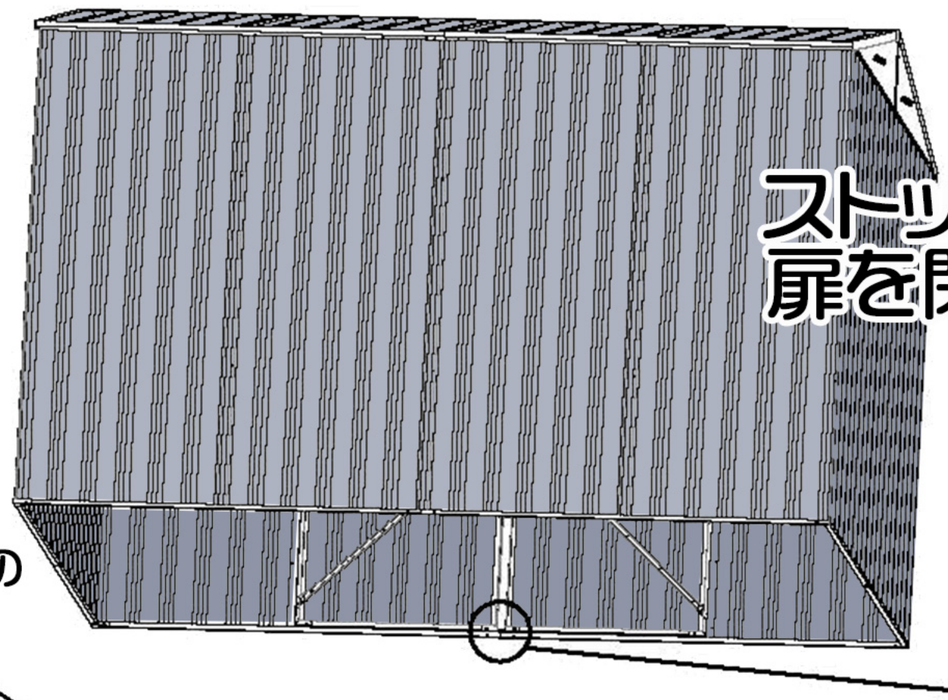


扉を取り付けます
左右の扉の位置を合わせて
蝶番を取り付けます。
位置を間違えないように
気をつけてください。

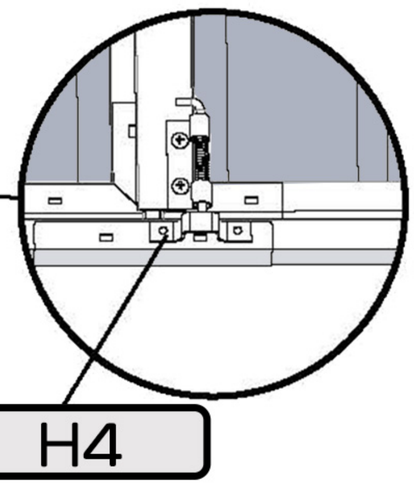
その後左扉の上下に
ストッパーを取り付けます。
位置を間違えないように
気をつけてください。

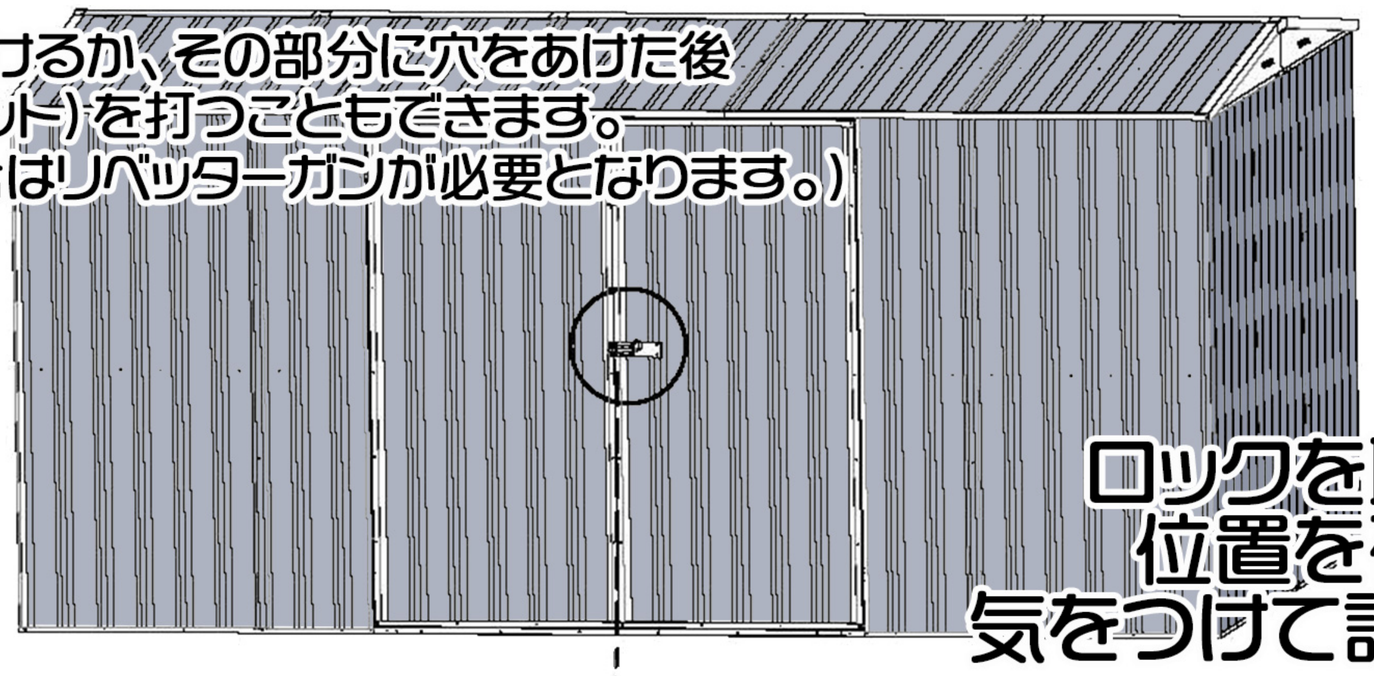
	H4	1
	S3	2
	H1	1
	S16	6
	L3	2

組み立て前にパーツが揃っているかの
確認をお願いします。



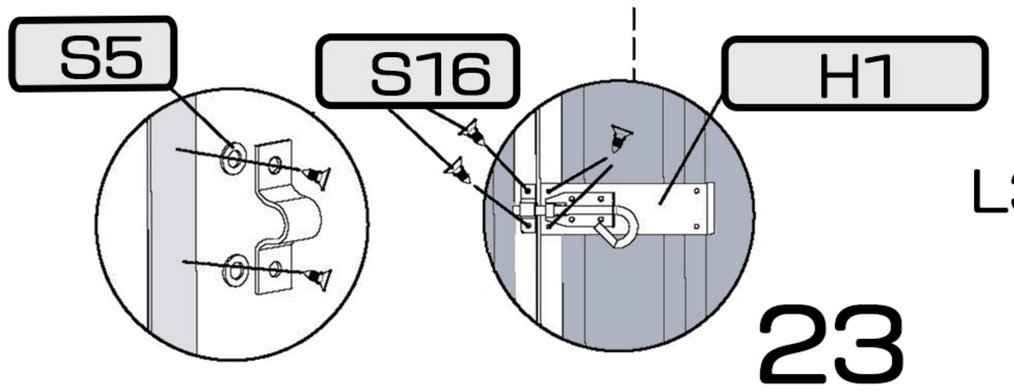
ストッパー受けを取り付けます。
扉を閉じて位置を調整しながら
つけてください。





S16を取り付けるか、その部分に穴をあけた後
S7（リベット）を打つこともできます。
（リベットを打つ場合はリベッターガンが必要となります。）

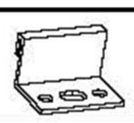
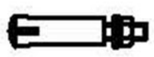
ロックを取り付けます。
位置を確認しながら
気をつけて設置してください。



H1を取り付けた裏面の
ネジのはみ出し部分に
L3の安全キャップを取り付けてください。

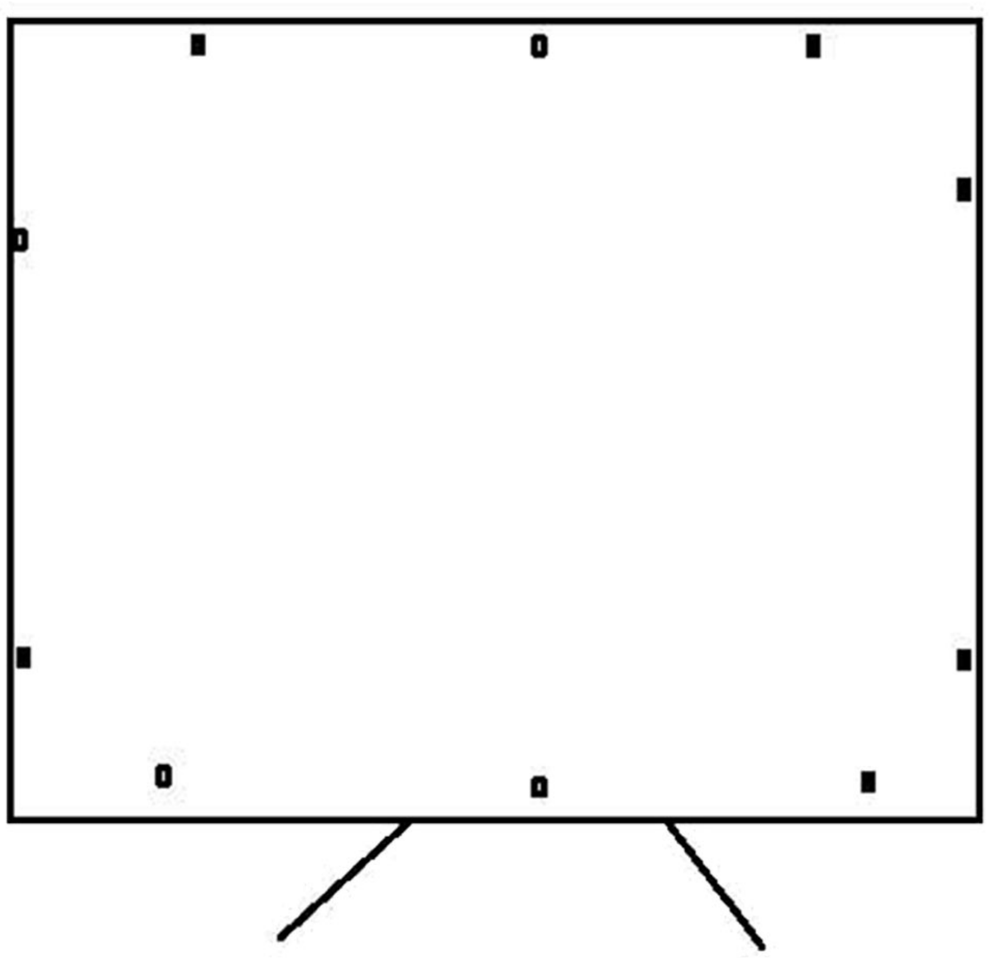
アンカーの取付け

物置の前後左右のパネルが
バランスよく四角になっているか必ず確認してください。

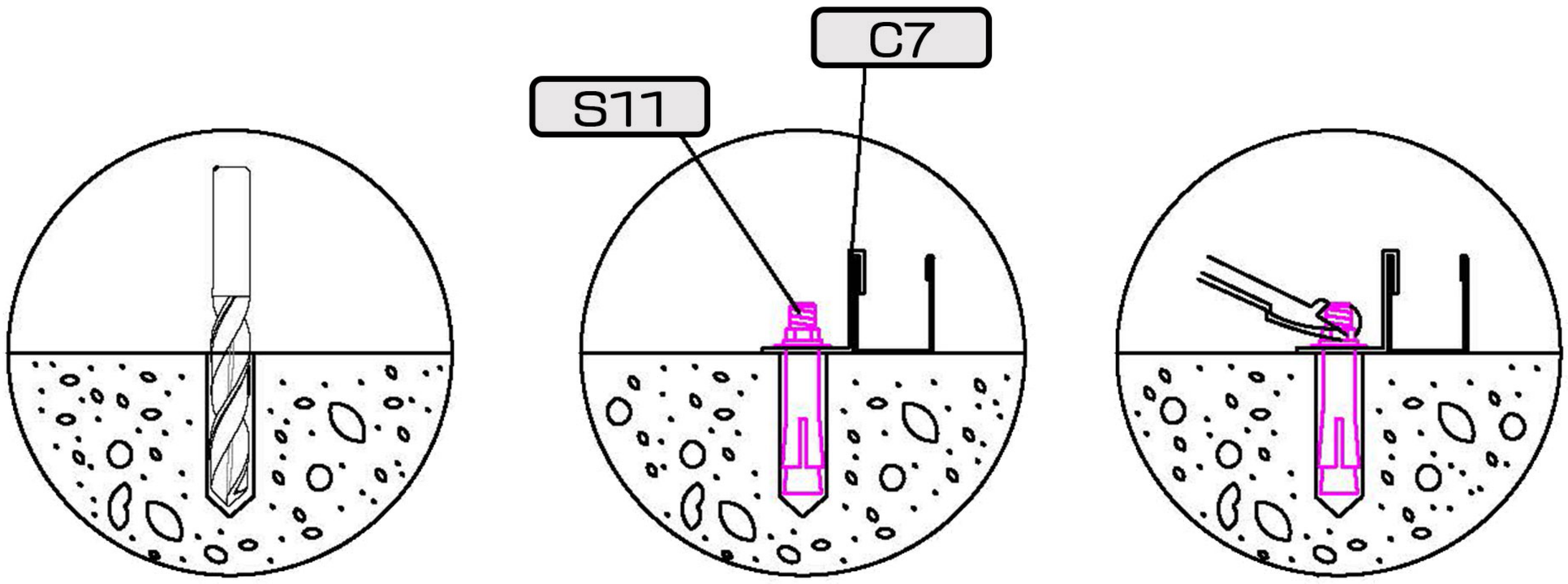
	C7	10
	S11	10

組み立て前にパーツが
揃っているかの確認を
お願いします。

ここでは一例で倉庫内部に設置する場合として
図解してあります。
内部に10か所設置します。



アンカーキットでコンクリートに固定する場合



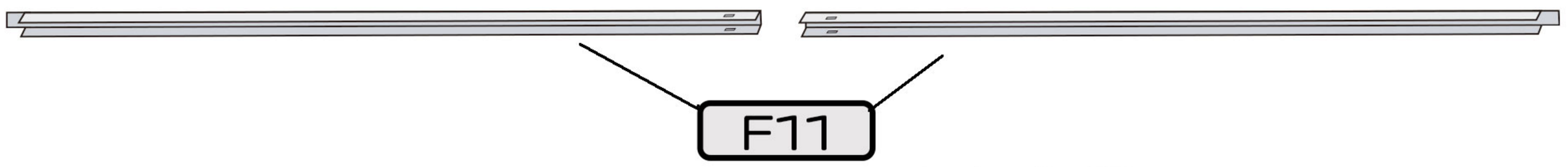
1, コンクリートに印をつけてC7アンカークランプを配置する
2, 12mm-0.39コンクリート用ドリルで
　60mm-2.4の深さの穴をあける
3, S11をワッシャーとナットで固定する

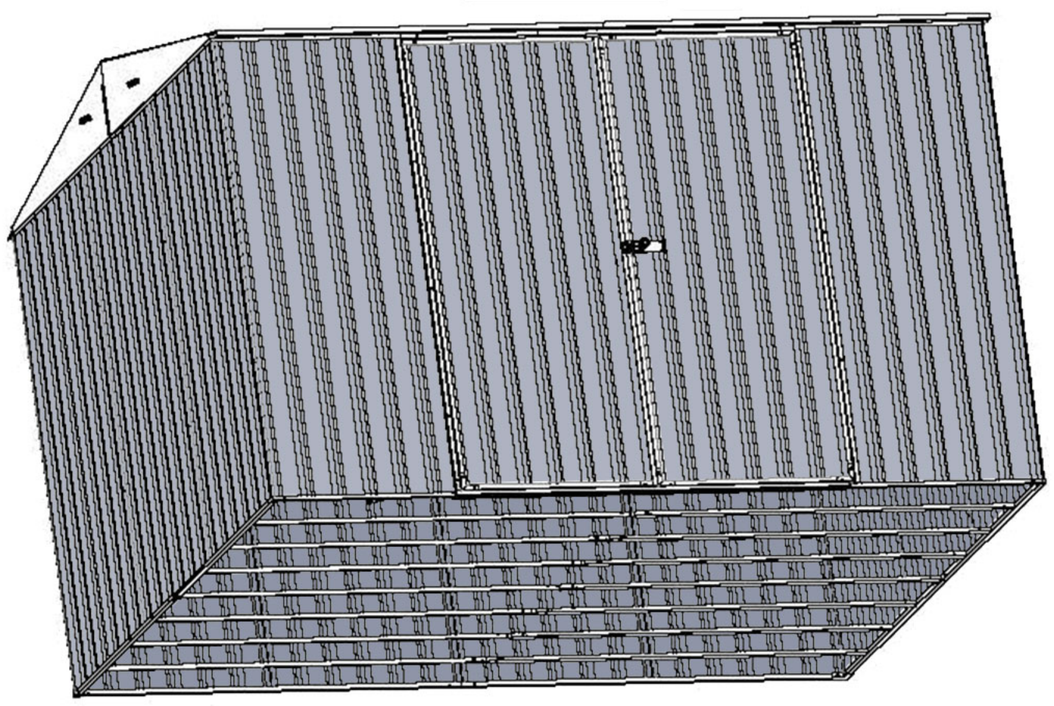
ベースキットの取付け

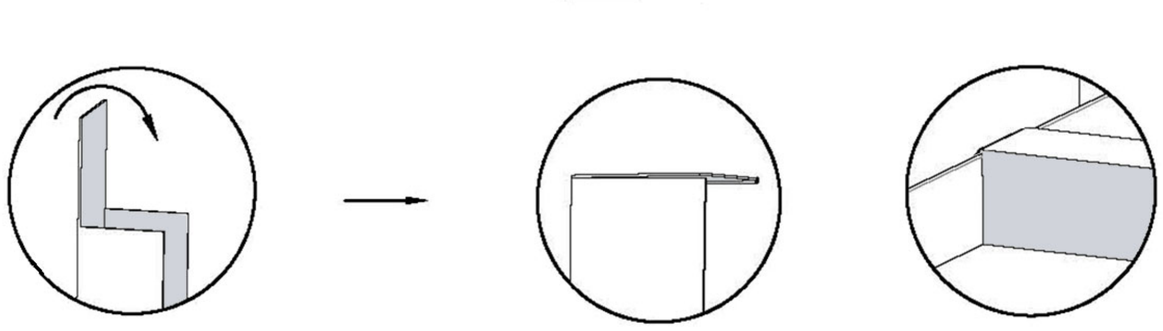
	F11	14
	J3	7

組み立て前にパーツが
揃っているかの確認を
お願いします。

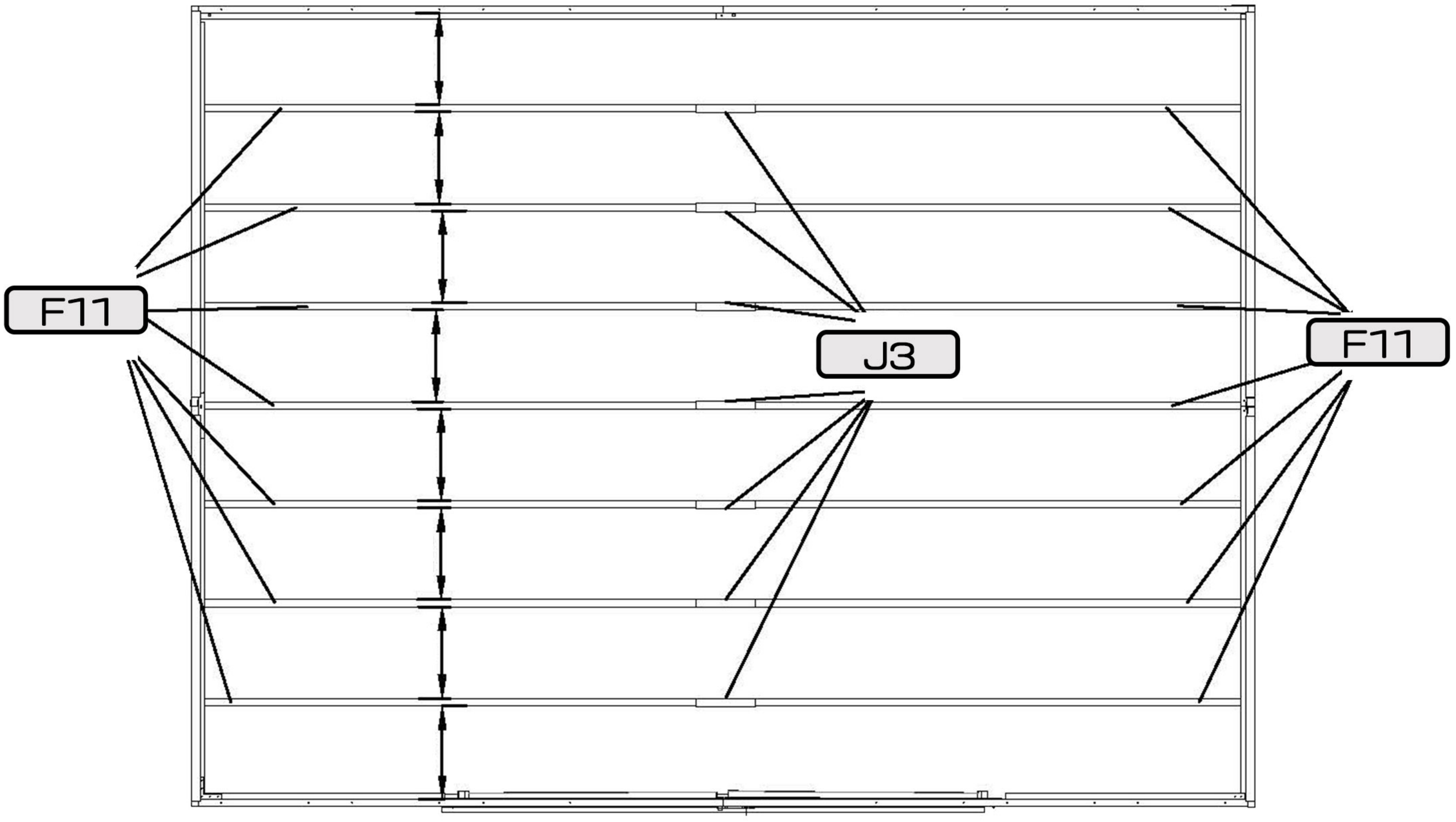
F11を2本用意しますJ3を使って
へこみに合わせてつなげてください。
全部で7本必要ですので
7本準備しておきます。







F11の左右の端にある飛び出し部分をまげておきます。



均等な距離で配置していってください。